NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie M

853-811064-020-A
2010年6月　初版

付　録 113

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

一般禁止
その行為を禁止します。

接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。

火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

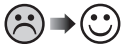
傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
☹➡☺	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
メモ	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

・ 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・ 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています。

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

◆周辺機器について

・ 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・ 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook 2010	Microsoft® Outlook 2010
Word 2010	Microsoft® Word 2010
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2010

シリーズ名	型番(型名)	表記の区分	
		OS	添付ソフト
LaVie M	LM550/BS6□ (PC-LM550BS6□)※1	Windows 7 Home Premiumモデル	Office Personal 2010モデル

※1:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

シリーズ名	カラー	型名(型番)
LaVie M	グロスホワイト	LM550/BS6W(PC-LM550BS6W)
	グロスブラック	LM550/BS6B(PC-LM550BS6B)
	グロスレッド	LM550/BS6R(PC-LM550BS6R)

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare SM International Service]対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

各種規制について

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには、技術基準認証済みの通信機器が搭載されています。
本機のモデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国モードに設定してご使用になりますと電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード（初期値）は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

■高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品です。
本体の電源の入力波形は正弦波をサポートしています。

■電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

■瞬時電圧低下について

［バッテリパックを取り付けていない場合（バッテリパックがない機種含む）］
本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）
［充電されたバッテリパックを取り付けている場合］
本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザー安全基準について

DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）が搭載されているモデルでは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）のクラス1 レーザー製品であるDVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）が搭載されています。レーザーマウス（ワイヤレスマウス）が添付されているモデルでは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）のクラス1レーザー製品であるレーザーマウスが添付されています。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare℠ International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare℠ International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上の警告・注意事項

本体使用上の警告・注意

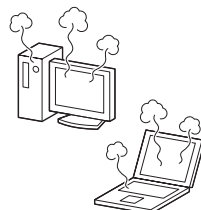
■本体使用上の警告

⚠警告

● **本製品は電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源コードのプラグ)に容易に手が届くようにしてください(バッテリパック使用時は除く)。**

電源コンセントから遠い場所に設置した場合、万一、煙や異臭、異常な音が発生したとき、手で触れないほど熱くなったときなど、電源コードのプラグをすぐに抜けなくなるおそれがあります。

● **煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

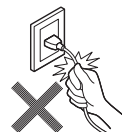
そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、下記にお問い合わせください。
0120-977-633

● **本製品に触れるとビリビリとした電気を感じる場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **本製品が変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。**

電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

● **雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類(電源コード、ACアダプタ、USBケーブルなど)に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。

警告

● **ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。**

窒息事故などを起こすおそれがあります。

● **不安定な場所に置かないでください。また、地震等によって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。**

落下、転倒してけがをするおそれがあります。

● **本機を改造、分解しないでください。**

感電、発煙、発火の原因になります。

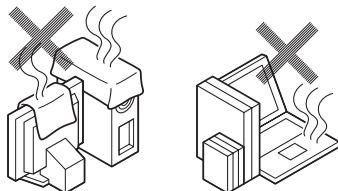
● **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。**

発熱、発火、破裂の原因になります。

● **本製品の内部に次のような異物を入れないでください。**

・金属物
・水などの液体
・燃えやすい物質
・薬品
回路がショートして火災の原因になります。

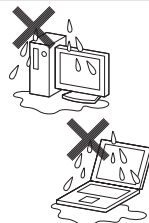
● **装置の通風孔(排熱孔)をふさがないでください。**

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。

■本体使用上の注意

注意

● **本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。**

・風呂場など湿気の多い場所
・調理台や加湿器のそばなど、水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所
感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにしてNECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。

⚠注意

● **本機の使用中や使用直後、バッテリパックの充電中は、温度が高くなる部分がありますので注意してください。**

特に、本体底面、本体背面のコネクタ、液晶ディスプレイの周辺、キーボードのキー、コードを固定するねじ類、ファンの吹き出し口、ACアダプタの表面、PCカード、PCカードスロット、コンパクトフラッシュカードの周辺、バッテリパックやバッテリパックの周辺などが高温になる場合があり、やけどなどのおそれがあります。

● **本製品を設置したり移動する場合は、指などをはさまないよう十分注意してください。**

設置や移動の際、本製品と床、壁などとの間に指などをはさむと、けがの原因になることがあります。

● **重い製品を移動したりする場合は、ひざを曲げ、体勢を整えてから、できるだけ体にくっつけるようにして持ち上げてください。**

体勢を整えないまま持ち上げたりすると腰痛の原因になる場合があります。なお、大きな製品や特に重い製品は2 人以上で持ち上げるようにしてください。

● **前面カバーがある製品の場合、カバーを開けた状態で使用するときは、十分注意してください。**

前面カバーに強くぶつかったときにけがの原因になることがあります。
ケーブル等を接続したり、一部のPCカード等を取り付けたりした状態では、カバーを閉じられません。この場合はカバーを開けたまま使用してください。

● **本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。注意してください。**

故障や安全の観点からご注意ください。

● **通風孔(排熱孔)からの送風に注意してください。**

通風孔(排熱孔)からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔(排熱孔)からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

● **液晶ディスプレイを閉じた状態で使用しないでください。**

内部温度が高くなり、故障、発熱の原因となります。

● **ひざの上で長時間使用しないでください。**

使用中本機底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
低温やけどは、長時間にわたり一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑(こうはん)、水泡(すいほう)などの症状を起こすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。

● **使用するソフトによっては、パームレスト部(手をのせる部分)やキーボードのキーが多少熱く感じられることがあります。**

長時間にわたるキーボード等の操作をする場合は、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

⚠注意

- **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイが出た状態で使用する場合は、十分注意してください。DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイはイジェクトボタンを押さなくても、ソフトウェアの動作などで本体から出てくることがあるため注意してください。**

DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイに強くぶつかったり手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。

- **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)は絶対に分解しないでください。**

故障、発熱、破損、感電の原因になります。

- **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)などのレーザー光源を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

- **添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。

- **フロッピーディスクイジェクトボタンは指の腹の部分で押してください。**

爪の先でフロッピーディスクイジェクトボタンを押すと、爪と指先の間にフロッピーディスクイジェクトボタンが入ってけがの原因になります。

- **モデムは、一般の電話回線のみに接続してください。**

一般の電話回線以外に接続した場合、故障、発熱、破損の原因になります。

- **先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。**
- **液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。**
- **液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。**

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

● **液晶ディスプレイのガラスの取り扱いに注意してください。**

液晶ディスプレイはガラスでできています。取り扱いによってはガラスが割れることがあります。次の点に注意してください。

・液晶ディスプレイに衝撃を与えないよう、ゆっくり開閉してください。

・液晶ディスプレイを破損しないよう、無理に大きく開けないでください。

・液晶ディスプレイをたたいたり、強く押したりしないでください。

・液晶ディスプレイとキーボードの間に物をはさまないでください。

● **光センサーマウスの底面の光を直接見ないでください。**

目が痛んだり、視力障害を起こすおそれがあります。

● **レーザーマウスの底面中央の穴を見つめないでください。**

レーザーマウスのレーザーは目で見て確認することはできませんが、底面中央の穴からレーザーが出ています。
底面中央の穴を見つめると目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。
レーザーマウスが正しく動作しているかどうかは、マウスを動かして確認してください。

電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告・注意

■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告

⚠警告

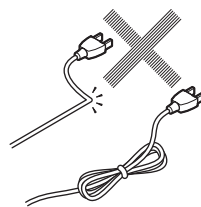
● **電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。**

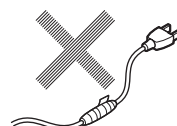
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

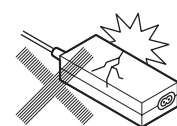
※ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。

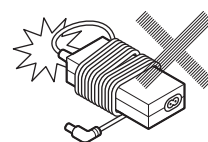
● **電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。**

- 落下させたり衝撃を与えない
- 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
- つけ根部分を無理に曲げない
- 重いものを載せない
- 布などでくるまない
- 屋外で使用しない
- 水などの液体がかかる場所では使用しない

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **破損した電源コードは使用しないでください。**

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。

● **ACアダプタ本体や接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は、使用しないでください。**

発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● **ACアダプタ本体に電源コードや接続ケーブルを巻き付けないでください。**

電源コードや接続ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● **電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったままの状態で本機を使用しないでください。**

電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったまま使用していると、プラグのピンの間で放電(トラッキング現象)が起こり、火災の原因になります。

⚠警告

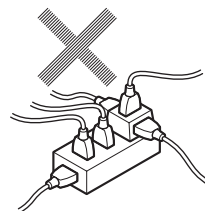
● **電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードを他の機器には使用できません。**

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁(二重被覆)のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。

・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない
・破損したコードを使わない
・プラグにほこりがたまったままの状態で使用しない
・奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
・ぬれた手で触らない

延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

● **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線は、絶対にガス管につながないでください。**

火災の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線の金属部をコンセントとプラグの間にはさまないでください。またアース線の金属部をコンセントの差込口に差し込まないでください。**

感電、発火の原因になります。

● **指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。**

指定以外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。
ACアダプタの型番については、添付のマニュアルをご覧ください。

⚠警告

● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等の接続の際は、次の点をお守りください。**

・差込部は正しい向きで接続する
・電源コードをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。**

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

● **ACアダプタとパソコンの接続部(DCコネクタ部)については、次の点をお守りください。**

・接続部をこじらない
・運搬、移動時は接続を外す
・接続コードを傷付けない

発煙、発火、やけどのおそれがあります。
また、故障等で過熱している場合もありますので、接続部に触るときは十分ご注意ください。

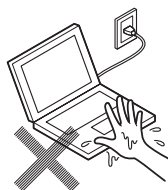
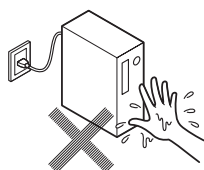
● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等を接続して本体を使用しているときは、ACアダプタにできるだけ接触しないでください。**

やけどの原因になります。
特に、バッテリパックの充電中は、ACアダプタの温度が高くなることがあるので注意してください。

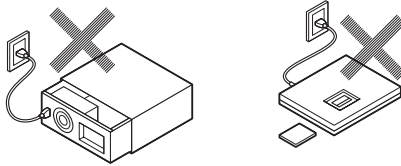
■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意

● **ぬれた手で触らないでください。**

電源コードがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタに触ると、感電の原因になります。

⚠注意

● **電源コードがコンセントに接続されているときやバッテリが取り付けられているときは本体やメモリのカバー類を外さないでください。**

感電の原因になります。

● **アース線がある場合、必ずアース線を接続してください。**

アース線を接続しないと、感電の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線の接続や取り外しをおこなうときは、必ず本体および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてください。**

感電の原因になります。

● **お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、バッテリを取り外してください。**

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

バッテリパック使用上の警告・注意

■バッテリパック使用上の警告

バッテリパックを指定する取り扱い方法およびご利用環境以外の方法にて使用した場合には、発熱、発火、破裂する等の可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。

⚠警告

● バッテリパックは指定の方法以外で充電しないでください。

マニュアルに記載されている指定方法で充電してください。指定以外の方法で充電すると、発熱、発火、破裂することがあります。

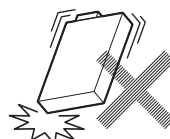
● バッテリパックを分解、改造しないでください。

バッテリパックを分解、改造すると、発熱、発火、破裂することがあります。弊社指定以外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパック(弊社で修理対応したものを除く)は、安全を確保するためのチェック機能や制御機能が正しく動作しません。
弊社指定以外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパックは、品質、性能、安全性について保証の対象外となります。

● バッテリパックを火中に投下する、火気に近づける、加熱する、または高温状態で放置することはしないでください。

火中に投下したり、火気に近づけたり、加熱(電子レンジ等を含む)したり、または高温状態で放置すると、発熱、発火、破裂することがあります。

● バッテリパックを落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。

本体に装着した状態や単体での落下等の衝撃によるバッテリパック内の電池や回路基板の損傷によって、発熱、発火、破裂することがあります。バッテリパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。

● バッテリパックの金属端子をショート(短絡)させたり、水、コーヒー、ジュース等の液体で濡らさないでください。

発火や漏電による感電の原因になります。

● バッテリでの駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリパックと交換してください。

バッテリパックは消耗品です。駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると、障害が発生することがあります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

※:フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルに記載されている「仕様一覧」をご覧ください。

⚠警告

● **使用しているACアダプタが使用しているパソコン用の純正ACアダプタであることを確認してください。**

純正でないACアダプタを使用しているとバッテリパックが発熱、発火、破裂することがあります。必ず純正のACアダプタを使用してください。

● **バッテリパックを保管する場合は、できるだけ湿度の低い冷暗所で保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。**

バッテリパックを長期保管するときは、過放電を防止するため、半年に1回の割合で、50％程度の充電をしてください。また、保管のときは、ビニール袋などに入れて端子のショートが起こらないようにし、ダンボールなど電気を通さない箱に、他のバッテリパックと重ならないように入れてください。

■バッテリパック使用上の注意

● **バッテリパックの取り付け／取り外しをおこなう場合には、指をはさまないよう注意してください。**

けがの原因になります。

Ni-MH
または
Li-ion

バッテリパック等の不要になった二次電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。
バッテリパック等の二次電池は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」により、回収・再資源化が求められています。

二次電池のリサイクルについては、下記のホームページでご確認ください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/battery/

電池使用上の警告・注意

■電池使用上の警告

⚠警告

● **電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。**

電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

● **電池をショート、加熱、または火の中に入れないでください。**

ショート、加熱、または火の中に入れると、電池が発熱、破裂して、けがや火災の原因になります。万一、内部の液がもれて目に入ったり、液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師にご相談ください。

● **必ず指定の電池を使用し、(＋)、(－)を正しく入れてください。**

指定以外の電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。また、使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

● **電池に充電したり、直接はんだ付けしないでください。**

充電したり、直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因になります。

■電池使用上の注意

⚠注意

● **電池を分解しないでください。**

有害物質が出て、人体に悪影響を及ぼすことがあります。

● **電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**

液もれの原因になります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

● **電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。**

やけどのおそれがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。

● **種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**

液もれ、破裂などにより、やけど、けがの原因になることがあります。

⚠注意

● 乾電池は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。

発煙、発火の原因になります。

● 本機内部のリチウム電池は、お客様では交換しないでください。
なお、なんらかの理由でリチウム電池を捨てる必要がある場合は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。

故障、発煙や発火の原因になります。

無線（ワイヤレス）機能使用上の警告・注意

■無線（ワイヤレス）機能使用上の警告

⚠警告

● **埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカー装着部から30cm以上離してご使用ください。**

電波により影響を受けるおそれがあります。

● **満員電車の中など、人と人とが近接する状態となる可能性のある場所では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方と近接する可能性があり、万が一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

● **医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**
また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。

医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

● **現在各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、本製品もその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となることがありますので、機内では本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**

電子機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

● **本製品の無線機能を使用中に他の機器に電波障害を引き起こした場合、すみやかに無線機能をオフにするか、本製品の使用を中止してください。**

機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

■無線（ワイヤレス）機能使用上の注意

⚠注意

● **補聴器を装着されている方は、本製品の使用により、補聴器にノイズなどを引き起こす可能性がありますので、ご使用前にご確認ください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

周辺機器使用上の警告・注意

■周辺機器使用上の警告

● **周辺機器は、マニュアルに記載の手順にしたがって正しく取り付けてください。**

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

■周辺機器使用上の注意

注意

● **周辺機器の取り付け／取り外しをおこなうとき、特に本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **増設RAMボードの取り付け／取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **このパソコンの使用直後に本機のカバーを開けて、周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、CPUやCPUの周辺、ヒートシンク(放熱板)に触れないでください。**

CPU、CPUの周辺、ヒートシンク(放熱板)が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切った後、30分以上たってからおこなうことをおすすめします。

● **このパソコンの増設RAMボードの取り付け／取り外しをするときは、ボード上の部品、金属部には直接手を触れないでください。**

ボード上の部品、金属部が高温になっているため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

● **電話回線ケーブル(モジュラケーブル)の取り外しや接続をおこなうときは、モジュラコンセントの端子部分に触れないでください。**

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

Mini B-CASカード使用上の警告・注意

■Mini B-CASカード使用上の警告

● **Mini B-CASカードは、お子さま、特に乳幼児の手が届かないように、常時受信機に装着して使用してください。**

誤って飲み込むと窒息またはけがのおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

健康上の注意

⚠注意

● **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用しないでください。**

キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやNXパッド、マウスを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き挿し、本機の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

製品保護上のご注意

■本機の取り扱い上の注意

● 次のような場所では、使用／保管しないでください。

誤動作や故障の原因になることがあります。

ほこりが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど）の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／夏の閉めきった自動車内

● 次の環境で使用してください。

デスクトップPCの場合、温度10℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）

ノートPCの場合、温度5℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）

● 本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- 落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- 本機の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔（排熱孔）をふさがないでください。
- 本機のほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔（排熱孔）がほこりなどにより目詰まりすると、本体内の空気の流れが悪くなり、本機の故障や機能低下の原因となることがあります。
- 本機のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
- 本機を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- 先のとがったもので傷付けないでください。特に、指紋センサに傷が付くと、故障や照合精度が落ちる原因になります。
- DVDやCDなどのディスクにデータを記録しているときは、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- 静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。本機に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● 本機を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

輸送する場合にはキャリングバッグやご購入時の梱包箱を利用してください。

● 本機を移動するときには、DVDやCDなどのディスクを取り出してください。

本機の故障や、DVDやCDなどのディスクの破損の原因になります。

● 長時間使用しないときは、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● 本機に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。

ケーブルを引っぱって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● ケーブル類は整理してください。

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたり引っかけたりして、本機の故障の原因になります。

● 本機の液晶ディスプレイに画面を表示させていると、液晶ディスプレイの周りの一部分があたたかくなることがあります。

これは、表示用電源の熱によるものであり、故障や異常ではありません。本機の電源を切ると、表示用電源が切れて温度が下がります。

ノートPCの場合は、液晶ディスプレイを閉じると、表示用電源が切れて温度が下がります。

■ハードディスク・SSDの取り扱い上の注意

- **振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。**
- **電源を入れたまま本機を動かさないでください。**
- **本機のハードディスクまたはSSD動作中は本機に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。**
  ハードディスクまたはSSDが動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクまたはSSDが故障することがあります。
- **本機のハードディスクまたはSSDが動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。**
  ハードディスクまたはSSDが動作中に電源を切ったり再起動すると、ハードディスクまたはSSDが故障することがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDやCDなどのディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製（コピー）することを「バックアップを取る」といいます。
パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。
万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップを取り、大切なデータを保護しましょう。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■お客様が作成されたデータの保存について

お客様が作成されたデータ（画像データ、映像データ、文書データなど）やプログラム、設定内容が記憶装置（ハードディスクなど）に記憶されている場合は、お客様の責任においてバックアップをお取りくださいますようお願いします。お客様が作成されましたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
本商品の故障や誤動作、あるいはバックアップの取りかたなどにより、記憶装置に記憶された内容が消失したり、バックアップしたデータが使用できない場合がございますが、当社ではその損害の責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■コンピュータウイルスの予防について

● コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウイルスに感染すると、感染したパソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染元となってしまう可能性もあります。
モデルによってはコンピュータウイルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。
また、日々増え続けるウイルスに対応するためには、「ウイルス定義ファイル」の更新が必要です。

■DVD、CD、ブルーレイディスクなどの取り扱い上の注意

●DVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・ データ面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
・ ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。
・ ディスクに文字を書く場合はディスク印刷面(レーベル面)に書いてください。ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは避け、フェルトペンなどペン先が柔らかい油性の筆記用具で手書きをするか、インクジェットプリンタ対応のディスクを使用して、インクジェットプリンタで直接印刷してください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・ 汚れたDVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクは使わないでください。
・ 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けてふいてください。
・ 清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
・ ベンジン、シンナーなどでふかないようにしてください。
・ ゴミやほこりの多い場所での使用は避けてください。
・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

■フロッピーディスク取り扱い上の注意

●フロッピーディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・ フロッピーディスクを磁石に近づけないでください。フロッピーディスクが磁気の影響を受け、保存されている大切なデータやソフトウェアが使えなくなることがあります。磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。
・ シャッターを開けて、中のディスクに触れないでください。
・ 汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
・ フロッピーディスクにラベルを貼り付けた状態でラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
・ ラベルは正しい位置に貼ってください。
・ 飲食、喫煙しながら使わないでください。
・ 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
・ クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
・ ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。
・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

使用について

・ メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
・ 静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
・ 小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
・ メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
・ メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
・ メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
・ メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
・ 裏面に通電性(電気を通す性質)がある金属が使用されているSDメモリーカード、SDHCメモリーカードやSDXCメモリーカード、マルチメディアカードや変換アダプタは使用しないでください。
・ 汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。

取り扱いについて

・ 分解しないでください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
・ 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
・ クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
・ ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。

保管について

・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ メモリーカードやアダプタ、メモリーカードスロットにセットされていたダミーカードなどは、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管し、誤って飲み込んだりすることがないようにしてください。
・ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。
・ 長期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
・ メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
・ メモリーカードには、指定の貼付箇所以外にラベルを貼らないでください。
・ 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取ってください。

■バッテリパック取り扱い上の注意

● バッテリパックは消耗品です。

駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると、障害が発生することがあります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

● バッテリ性能の診断を定期的に実施してください。

バッテリパックの消耗度合いを確認するために定期的に「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を実行してください(3カ月に1回が目安)。

● ACアダプタを使用している場合でも、バッテリパックは徐々に劣化します。

ACアダプタを使用している場合でも、長時間、ACアダプタをつないだ状態にしていると、バッテリパックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときで、バッテリを充電していないときには、ACアダプタを外してください。

● バッテリ関連Q&A 集もご覧ください。

バッテリについてはJEITA(社団法人 電子情報技術産業協会)の「バッテリ関連Q&A 集」もあわせてご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm

※:フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルに記載されている「仕様一覧」をご覧ください。

■本機の故障や機能低下を防ぐための注意

● 本機のお手入れ

故障や機能低下を防ぐため、本機はこまめにお手入れしてください。なお、本機の具体的なお手入れ方法については、添付のマニュアルをご覧ください。

● レンズのお手入れ

DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のレンズを清掃する際、市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーは絶対に使用しないでください。逆にゴミを集めてしまい、DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のレンズが汚れてしまうなど、故障や機能低下の原因になります。

● 通風孔(排熱孔)のお手入れ

通風孔(排熱孔)にたまったほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔(排熱孔)がほこりなどにより目詰まりすると、本体内の空気の流れが悪くなり、本機の故障や機能低下の原因となることがあります。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

・眼が疲れたり、重く感じる
・ものがぼやけてみえる
・疲れやすい
・頸(くび)から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

・1時間の作業につき10 〜 15分の休息時間をとる
・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
・両手を床とほぼ平行にキーボードに置く
・画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする

■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● 液晶ディスプレイの角度調節

本機の液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています(一部のディスプレイは除く)。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、液晶ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。
角度調節について詳しくは、本機やディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の輝度(明るさ)調節・コントラスト(濃淡)調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の清掃

ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

● キーボードの角度調節

機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。
キーボードの角度調節をするときには、足を必ず両方とも立てて使用してください。
なお、足の位置については、添付のマニュアルをご覧ください。

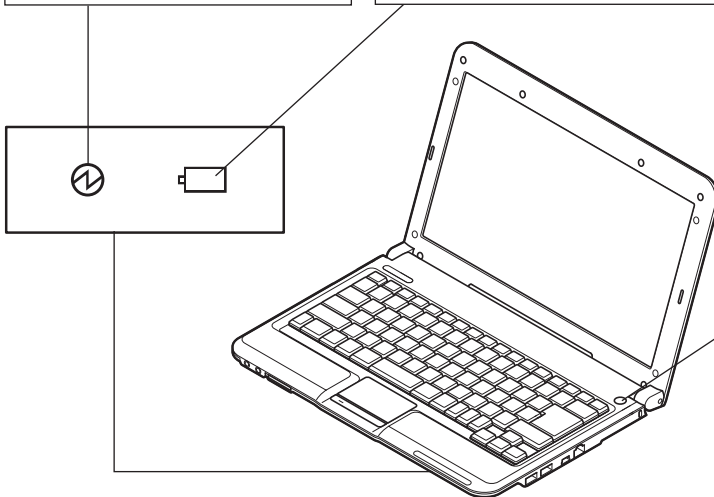
PART

1

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

参照

パソコン各部の説明について
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索

このほかに、【Fn】＋【1】や【Fn】＋【2】を押すだけでソフトが起動できる機能があります。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

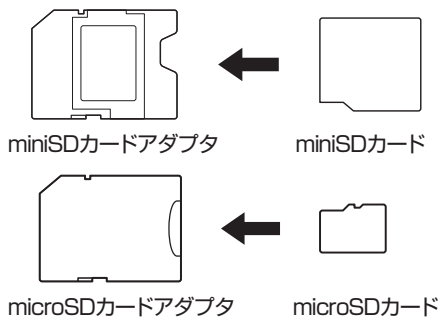
- 【Fn】＋【1】…Windows Live メールが起動します。Office 2010モデルの場合、はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
- 【Fn】＋【2】…Internet Explorerが起動します。

チェック!!

Office 2010モデルでは、はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Microsoft Office Outlook」、「Windows Live メール」)を選択する画面が表示されます。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。

SDメモリーカードの扱い方

このパソコンで使えるSDメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、SDメモリーカードのセットのしかたを説明します。

このパソコンでは「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、および「SDXCメモリーカード」を使うことができます。「miniSDカード」、「microSDカード」も市販のアダプタを利用することで使用できます。
miniSDカード、microSDカードは必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

チェック!!
- 必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。
- 各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。

SDメモリーカードの取り扱い上の注意

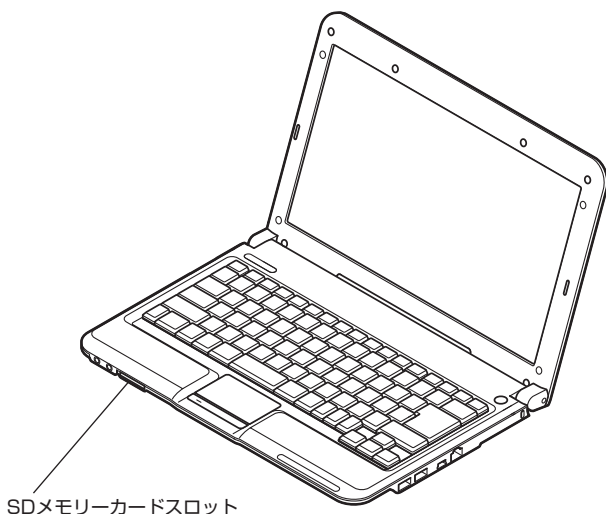
- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- SDメモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスリープ状態や休止状態にしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「SDメモリーカードスロット」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91010090 で検索)をご覧ください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカードを読み込めない場合は、メモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。

・ 携帯電話からメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
・ 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
・ その他の注意事項については「安全にお使いいただくために」の「■メモリーカード取り扱い上の注意」(p.28)をご覧ください。

SDメモリーカードの取り付け方と取り外し方

●SDメモリーカードを取り付ける方法

1 **SDメモリーカードの向きに注意して、SDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む**

表面を上にして差し込んでください。

●SDメモリーカードを取り外す方法

1 **画面右下の通知領域にある をクリックして表示される または をクリックすると表示される「××××の取り出し」で、取り外す機器名をクリックする**

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

2 **SDメモリーカードを軽く押す**

SDメモリーカードが少し出てきます。

3 **SDメモリーカードを水平に引き抜く**

チェック!!

・「miniSDカード」、「microSDカード」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、SDメモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
・ SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードの説明書をご覧ください。
・ メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは、「SDメモリーカードスロット」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91010090 で検索)をご覧ください。

チェック!!

・ SDメモリーカードスロットアクセスランプ( )点灯中は、SDメモリーカードスロットに差し込まれているSDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
・ miniSDカード、microSDカードなどのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

インターネットに接続するには

このパソコンでインターネットを利用するために必要な準備を説明します。

インターネットを楽しむための準備

このパソコンでインターネットを楽しむには、次の準備が必要です。
ご家庭で、現在インターネットを利用していない場合は、各回線業者、プロバイダに申し込みをしてください。

●インターネット回線

FTTH、ADSLなどのインターネット回線が必要です。
ご家庭にインターネット回線が無い場合は、回線業者との契約が必要です。

●プロバイダとの契約

プロバイダ(インターネット接続業者)との契約が必要です。
まだ契約をしておらず、特にプロバイダを決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。
インターネット接続の方法によって、接続、設定方法が異なります。
このマニュアルでは、FTTHの回線を使い、ワイヤレスLANでインターネット接続する場合を例に説明しています。有線LANでインターネットに接続する場合は、「LAN」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)をご覧ください。

チェック!!

このパソコンでは、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することはできません。
現在、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合、契約の変更などが必要になります。

接続設定の進め方

インターネットに接続するには回線事業者やプロバイダ(インターネット接続業者)への入会、機器の接続が必要です。はじめてインターネットに接続するかたや、これまでダイヤルアップ接続を利用されていたかたは、この後の説明をご覧ください。

すでにインターネットへの接続環境をお持ちのかたは「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする」(p.39)へ進んでください。

設定に必要なもの

ワイヤレスLANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

●回線終端装置

●ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ

このパソコンでは、IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g、IEEE802.11n(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(5GHz)に対応しています。

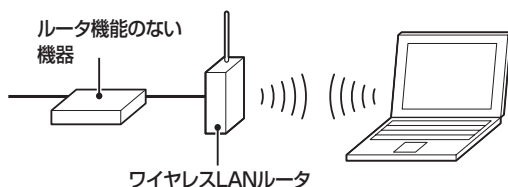
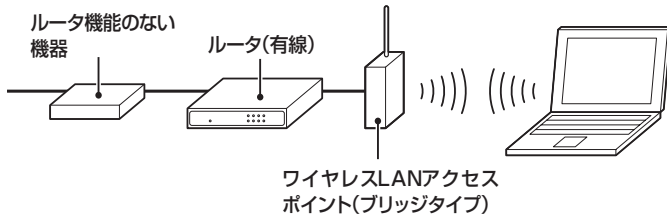
このマニュアルでは、ルータが接続されている例を使って説明します。

チェック!!

・お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。お使いの機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどで設定を確認してください。
・機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次のように接続してください。

回線終端装置の場合

回線終端装置とルータを有線で接続する場合

接続が終わったらパソコンの設定を変更します。

チェック!!

・詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。
・プロバイダから送られてくる接続機器にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。

ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする

ワイヤレスLANの接続と設定をおこないます。

プロバイダとの契約やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。
ここでは、ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合を例に説明します。有線LANでインターネットに接続する場合は、「LAN」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)をご覧ください。

チェック!!

- CATV接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。
- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

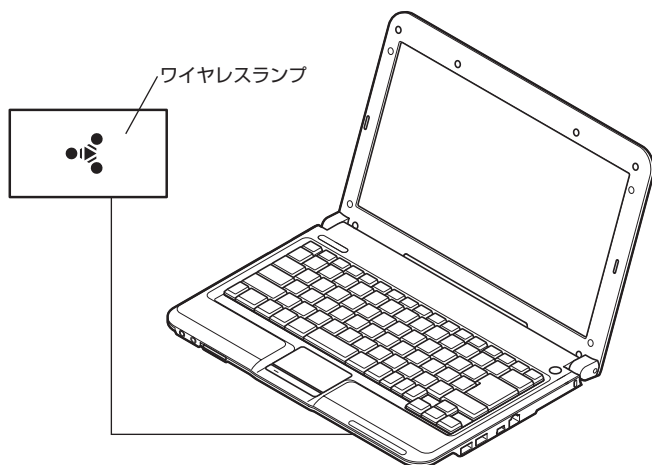
アクセスポイントの情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、WEPキー(セキュリティキーまたはパスフレーズ)が必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)

WEPキー(セキュリティキーまたはパスフレーズ)

ワイヤレスLAN機能をオンにする

キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオンになり、ワイヤレスランプが点灯します。

・ご購入時の状態では、ワイヤレスLAN機能はオフになっています。
・ワイヤレスLAN機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。
・もう一度キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスランプが消灯します。

ワイヤレスLAN機能がオフになっていると接続できません。

パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

コントロールパネルが表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」をクリック

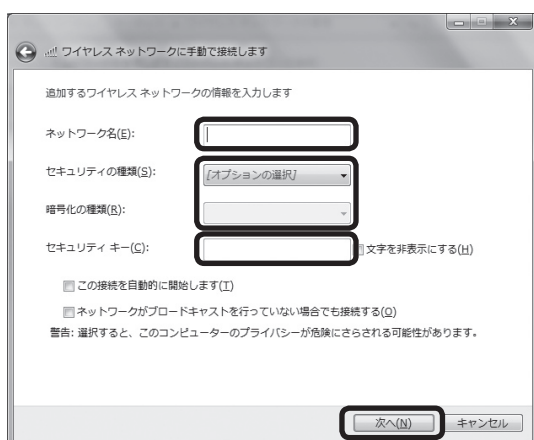
3 「ネットワークと共有センター」をクリック

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

4 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリック

5 「追加」をクリック

6 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリック

7 確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力して「次へ」をクリック

8 「閉じる」をクリック

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。

「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。
タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

チェック!!
Windows 7では、ここで説明する方法以外にもワイヤレスLANアクセスポイントを自動でスキャンしてから接続する方法にも対応しています。

参照
ワイヤレスLANアクセスポイントをスキャンして接続する場合について
→「ワイヤレスLANの設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93110040 で検索

チェック!!
ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

参照
ワイヤレスLANのセキュリティについて
→「セキュリティに関するご注意」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93110020 で検索

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールをやりとりするためのソフトが用意されています。

ここでは、Office 2010モデルで「Outlook 2010」を使ったメール設定を説明します。

・ Outlookのセットアップ、インストールについての不明点はマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。お問い合わせ先については「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「添付ソフトのサポート窓口一覧」の「ソフトのサポート窓口一覧」をご覧ください。
・ 使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらもあわせてご覧になり、設定することをおすすめします。

設定に必要なもの

メールの設定には、次のものが必要です。

●プロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、メールで使用するユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手したメール設定用マニュアルなどがある場合、そのマニュアルにしたがって設定をおこなってください。

メールの設定をする

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Microsoft Office」-「Microsoft Office Outlook 2010」をクリック**

はじめて「Outlook 2010」を起動した場合には、「プロダクト キーの入力」が表示されます。その場合はプロダクト キーを入力し、画面の指示にしたがって進めてください。

「Outlook 2010 スタートアップ」が開始されます。

2 **「次へ」をクリック**

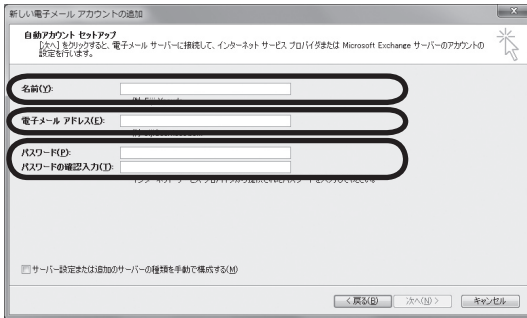
3 **「次へ」をクリック**

チェック!!

・「プロダクトキー」は、添付の「Microsoft Office 2010」パッケージの中の、DVD-ROMケースに記載されています。
・ メールソフトとして「Windows Liveメール」を使うこともできます。

参照

Windows Live メールについて
→「Windows Live メール」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94231214 で検索

4　自動アカウント設定のための情報を入力する

サーバーの自動アカウント設定に失敗した場合は、「サーバー設定または追加のサーバーの種類を手動で構成する」をクリックし、「次へ」をクリックします。次に「電子メールサービスの選択」の画面で「インターネット電子メール」を選択し、「次へ」をクリックします。表示された画面に情報を入力し、画面の説明を読んで設定します。

5　設定が終わったら「次へ」をクリック

サーバーの自動アカウント設定に失敗したときは、もう一度設定内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。

6　「完了」をクリック

「完了」をクリックすると、「ユーザー名の指定」画面、「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」に同意する画面、プライバシーオプションを設定する画面やMicrosoft Updateを利用するための登録画面などが表示されます。説明をよく読んで、画面の指示にしたがって進めてください。
メールの使い方について詳しくは、Outlook 2010のヘルプをご覧ください。また、メールの設定がうまくいかないときやほかのパソコンからメールのデータを移行したいときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「インターネット・ネットワーク」の「メール接続」、「メール操作・設定」をご覧ください。

メモ

「名前」に入力する名前は、日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。ここで入力した名前は、メールを送信するときに送信者として相手に表示されます。

チェック!!

パスワードは、プロバイダの会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。

パソコンを安全に使うための設定をおこなう

コンピュータウイルスなどからパソコンを守るために気を付けたい点について説明しています。

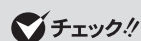
パソコンやインターネットを安全に使うために

パソコンの誤動作や内部のデータ破壊を引き起こす、ウイルスなどの不正プログラムの被害が多くなっています。電子メールのやりとり、インターネット経由のソフト入手、他人から受け取ったディスクの使用などが原因になって、知らないうちに不正プログラムがパソコンに侵入することもあります。これらの被害を防ぐには、定期的な対策が必要です。

パソコンをウイルスから守るために(1)

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムのことです。インターネットやメールからパソコンに入り込んだり、CDやDVD、各種メモリーカードなどのメディアから感染する場合もあります。
ウイルスによる被害は、自分のパソコンのデータが破壊されたり個人情報が流出したりするだけでなく、ほかの人へ大量の電子メールが自動的に送信されることもあります。自覚がないまま加害者になり得る可能性もあります。

「ウイルスバスター」を最新の状態に更新する

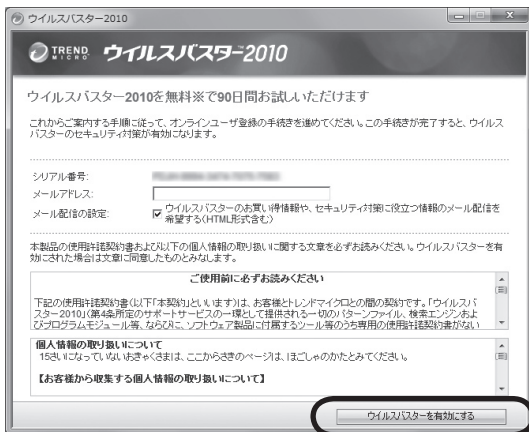
このパソコンには、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」が入っていて、パソコンをウイルスから守ることができます。しかし、ウイルスは日々新しいものが出てくるので、新しいウイルスに対応するために、ソフトを常に最新の状態に更新(「アップデート」といいます)してウイルスチェックをしなければなりません。
このパソコンの「ウイルスバスター」では、ユーザー登録後はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料でアップデートをおこなうことができます。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどで製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。
有料のサービスについて詳しくは、無料サービスの開始時に登録したメールアドレス宛に配信されるメールなどの案内をご確認ください。

チェック!!
アップデートするには、インターネット接続の設定が必要です。

アップデートのしかた

パソコンをご購入後、アップデートする場合は、まずインターネットに接続して、90日間無償サポートを受けるため、ユーザー登録をおこなう必要があります。

インターネット接続の設定が終わった後、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2010」-「ウイルスバスター 2010を起動」をクリックしてウイルスバスターを起動し、「オンラインユーザ登録/契約更新」欄の「アップデート機能を利用できません」をクリックします。
ユーザー登録の画面が表示されたら、記載内容をよく読み、必要事項を入力してから「ウイルスバスターを有効にする」をクリックしてください。

チェック!!
パソコンをご購入後、はじめてインターネットに接続してから3日間はユーザー登録をしていなくても自動的にアップデートがおこなわれます。

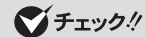
参照
ウイルスバスターの登録のしかたや、アップデートの方法について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020 で検索

パソコンをウイルスから守るために(2)

ウイルスの侵入を常にチェックする

「ウイルスバスター」には、ウイルスの侵入を常に監視する機能があります。その機能を「ウイルス/スパイウェアの監視」といいます。「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの侵入が自動的に監視されます。
ご購入時の状態では、ウイルスの侵入を常に監視する(「ウイルス/スパイウェアの監視」が有効)設定になっています。通常はこの状態でお使いください。
「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの検査が頻繁におこなわれるため、ほかのソフトの動作が遅くなることがあります。ウイルスに対して安全な状況であるとわかっている場合、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効にすることができます。
また、パソコンや周辺機器の設定、インターネット接続の設定をするときなどに、ウイルスチェックを停止するよう指示が表示される場合があります。その場合も、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効に設定してください。
「ウイルス/スパイウェアの監視」の有効/無効設定について詳しくは、「ウイルスを見張る」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040040 で検索)をご覧ください。

チェック!!
「ウイルス/スパイウェアの監視」の有効/無効については、ウイルスバスターのメイン画面で「ウイルス/スパイウェア対策」をクリックして確認できます。
ウイルスバスターは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2010」-「ウイルスバスター 2010を起動」をクリックして起動してください。

その他のウイルス対策ソフトを使う

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使うこともできます。

チェック!!
「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使用する場合は、必ず「ウイルスバスター」を削除(アンインストール)してください。

参照
ウイルスバスターの削除方法について
→「ウイルスバスター」-「追加方法と削除方法」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索▶「追加方法と削除方法」

お子様を有害ホームページから守るために

インターネットにアクセスすると、さまざまなホームページを閲覧できます。しかし、有害な情報や違法情報を含むホームページもあります。
このようなホームページへのアクセスを自動的に遮断してくれるフィルタリング機能を使うことをおすすめします。
フィルタリングには、パソコンにフィルタリングソフトを追加して利用する方法と、インターネットプロバイダのフィルタリングサービスを利用する方法があります。お使いのプロバイダがフィルタリングサービスをおこなっているかは、各プロバイダにお問い合わせください。
利用者それぞれに適した設定ができるため、お子様も安心してインターネットを楽しめるようになります。
詳しくは、「お子様を有害ホームページから守るために」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91030090 で検索)をご覧ください。

大切なデータの控えを取っておく（バックアップの種類と方法）

トラブルが起きたときに備えて、大切なデータは控えを取っておきましょう。

ハードディスクの故障やウイルスの感染など、パソコンに大きなトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまったりすることがあります。
もしものときに備えて、データの控えを残しておきましょう。このデータの控えのことを「バックアップ」と呼び、バックアップを作成することを「バックアップする」、「バックアップを取る」といいます。

用途	対象データ	ソフト名	主なバックアップ先
データ消失予防	選択したデータ	バックアップ・ユーティリティ	パソコンに内蔵されたハードディスク、外付けハードディスク、CD-R、DVD-R

チェック!!
・ 複数のパソコンのデータを同期させるためのソフト「FlyFolder」を使って、バックアップを取ることもできます。(p.51)
・ もっと手軽にバックアップしたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しております。

バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する

「バックアップ・ユーティリティ」を使って、自分で作成したデータやインターネットの設定などをバックアップすることができます。

バックアップ・ユーティリティ使用上の注意

・ バックアップは、定期的に取ることをおすすめします。「バックアップ・ユーティリティ」では、定期的に自動でバックアップを取るように設定することもできます。バックアップの予定時刻には、ほかのソフトを起動しないようにしてください。詳しくは、バックアップ・ユーティリティのヘルプまたは、「バックアップ・ユーティリティ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94040221 で検索)をご覧ください。
・ バックアップするデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
・ バックアップ・ユーティリティでバックアップしたデータは、このパソコンでのみ復元できます。
・ ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
・ ご購入時のDドライブの容量は20Gバイトです。大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。

- セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。
- DVDやCDにデータのバックアップを取る場合や、セキュリティ機能を使用してバックアップを取ったデータを参照・復元する場合、ハードディスクに一時的にデータをコピーする必要があります。そのため、バックアップを取ったデータのサイズに応じて、ハードディスクに最大8.5Gバイトの空き容量が必要です。
- 障害によりWindowsが起動しないときは「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくはPART3の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.87)をご覧ください。
- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってバックアップを取ることができません。購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

バックアップを取る

ここでは「バックアップ・ユーティリティ」を使って、自分で保存したデータやインターネットに関する一部の設定のバックアップを取る手順について説明します。

1 **タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリック**

2 **「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「バックアップ・ユーティリティ」の「ソフトを起動」をクリック**

インストールの画面が表示されたときは、画面の指示にしたがってインストールしてから、次の手順に進んでください。

3 **「バックアップを取る」をクリック**

「バックアップ・ユーティリティのご紹介」が表示された場合は、内容を読んで「閉じる」をクリックしてください。

4 **バックアップしたい「バックアップタイトル」にが付いていることを確認して、「次へ」をクリック**

バックアップしたい「バックアップタイトル」がのときは、クリックしてを付けてください。

バックアップが取れるのは、が付いているデータだけです。「追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータをバックアップ対象に登録できます。

チェック!!

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- DVDやCDなどにデータのバックアップを取る場合は、あらかじめ別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)や外付けハードディスクを接続しておいてください。

チェック!!

「Windows Live メール」にを付けても、Windows Live メールのアドレス帳のバックアップは取れません(メールアカウントとメールメッセージのバックアップは取れます)。Windows Live メールのアドレス帳のバックアップを取る場合は、Windows Live メールでおこなってください。

5 **「バックアップする設定」のすべてに☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック**

☑が付いていないときは、「すべて選択」をクリックしてください。

6 **「ローカルディスク」が◉になっていることを確認して、「次へ」をクリック**

CD-RやDVD-Rなどのディスクにバックアップを取るときは、「光ディスク(CD、DVD、BDなど)」の○をクリックして◉にし、「空き容量」をクリックしてください。バックアップに必要なディスクの枚数が表示されます。

表示された枚数のディスクをご用意の上、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

7 **バックアップする内容を確認して、「実行」をクリック**

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

8 **「バックアップの完了」が表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック**

9 **「バックアップ・ユーティリティ」の画面右下の「閉じる」をクリック**

- Dドライブにバックアップを取った場合は、バックアップが成功すると「D:￥BackupUt￥(ユーザー名)」フォルダに「BackupUt.but」というファイルが作られます。(ユーザー名)には、バックアップを取ったユーザーの名前が入ります。ユーザー名は、『セットアップマニュアル』の「パソコンをセットアップする」で設定したユーザー名です。
- 家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合、ユーザーの人数分だけバックアップが必要です。「スタート」-▷-「ユーザーの切り替え」の順にクリックして、ユーザーごとにバックアップの手順を繰り返してください。このとき、標準ユーザーのバックアップは、管理者ユーザーが取ってください。

チェック!!

- 標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、Dドライブのデータも消えてしまうため、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RWなどのディスク、またはほかのパソコンにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「バックアップ先とファイル名の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
- セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。

チェック!!

「バックアップ・ユーティリティ」でバックアップを取ったデータは、パソコンを再セットアップしたら、すぐに復元してください。復元が遅れると、再セットアップ以降に作成されたデータが失われることがあります。

バックアップしたデータを復元する

1 タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリック

2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「バックアップ・ユーティリティ」の「ソフトを起動」をクリック

3 「バックアップを復元する」をクリック

4 「バックアップファイル」を指定して、「次へ」をクリック

「参照」をクリックして、バックアップデータを保存したドライブやフォルダ（標準の状態では「ローカルディスク（D:）」）にある、拡張子に.butが付いたファイルを選んで「開く」をクリックしてください。

5 「復元するタイトルの選択」と表示されたら、「すべて選択」をクリックして、「次へ」をクリック

6 「復元する設定」と表示されたら、「すべて選択」をクリックして、「次へ」をクリック

7 「復元内容のご確認」と表示されたら、内容を確認して、「実行」をクリック

8 「復元の開始」画面で「はい」をクリック

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

9 「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック

10 「設定の変更」が表示された場合は、「はい」をクリックしてパソコンを再起動する

これで、バックアップ・ユーティリティで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

FlyFolderでフォルダを指定してバックアップする

「FlyFolder」は、複数のパソコンのデータを同期させるためのソフトです。このソフトの自動ファイル保存機能を使って、任意のフォルダのファイルをバックアップすることもできます。
指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、自動でバックアップデータが作成されます。

FlyFolder使用上の注意

・ご購入時のDドライブの容量は20Gバイトです。大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。
・外付けハードディスクやネットワーク上の別のパソコンへのバックアップも設定できます。また、BIGLOBEのサービス「オンラインストレージ for FlyFolder」(有償)を活用すれば、インターネット上にバックアップすることもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。
・FlyFolderを搭載した複数のパソコンで同じ保存設定をしておけば、各パソコンのデータを共有することもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。
・メールのデータは「FlyFolder」を使ってバックアップすることはできません。「Windows Live メール」、「Outlook 2010」のデータは、「バックアップ・ユーティリティ」(p.47)を使ってバックアップしてください。
・購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

バックアップするフォルダを指定する

「FlyFolder 設定ツール」を使って、バックアップ先のフォルダ、およびバックアップの対象となるフォルダとファイルの種類を設定する操作について説明します。ここでは、パソコンのDドライブにバックアップする操作を例に説明しています。

あらかじめ、バックアップしたデータを保存するためのフォルダ(バックアップ先フォルダ)を、エクスプローラなどで作成しておいてください。
また、必要に応じて、そのフォルダにアクセス制限を設定しておいてください。

1 **タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリック**

2 **「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「FlyFolder」の「ソフトを起動」をクリック**

「FlyFolder 設定ツール」が起動します。

インストールの画面が表示されたときは、画面の指示にしたがってインストールしてから、次の手順に進んでください。

チェック!!
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

3 **「次へ」をクリック**

保存先のフォルダに関する設定画面が表示されます。

4 **保存先のフォルダに関する設定をする**

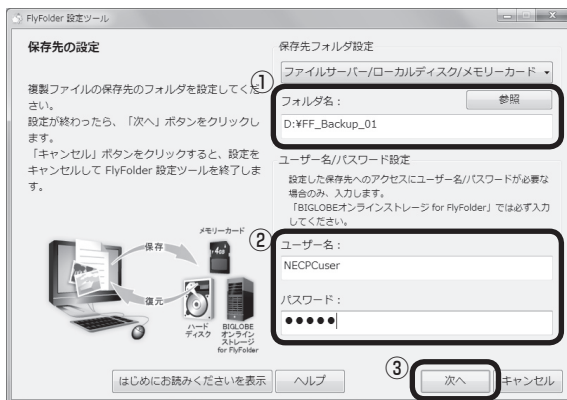
① 保存先フォルダを設定する

「フォルダ名」に保存先のフォルダ名をパスも含めて入力してください。

「参照」をクリックしてフォルダを選ぶこともできます。

② ユーザー名とパスワードを設定する

保存先のフォルダにアクセス制限が設定されているときは、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

③ 「次へ」をクリックする

「保存対象項目」の一覧が表示されます。

5 **保存したい「対象項目名」に☑が付いていることを確認して、「完了」をクリック**

保存したい「対象項目名」が☐のときは、クリックして☑を付けてください。

バックアップが取れるのは、☑が付いているデータだけです。「新しい対象項目名の追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータを保存対象に登録できます。

再起動を促す画面が表示されます。

6 **「今すぐ再起動」をクリック**

Windowsが再起動します。

再起動後、設定した内容にしたがってバックアップがおこなわれ、その後、「設定した内容を反映します。」というメッセージが表示されます。

チェック!!

- Windowsの起動ドライブにあるフォルダは、保存先フォルダとして設定できません。
- ユーザー名とパスワードは、保存先のフォルダに設定されたアクセス制限の内容に合わせて入力してください。

チェック!!

保存設定の削除に関するメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認し「OK」をクリックしてください。

7 **表示された内容を確認し、「はい」(または「いいえ」)をクリック**

通常は「はい」を選んでください。初回復元で同じ名前のファイルを上書きしたくないときは、「いいえ」を選んでください。
初回設定(保存先のファイルと保存対象のファイルの照合と復元)がおこなわれます。これで、FlyFolderの設定が完了しました。

チェック!!

- 設定が完了すると、設定された内容にしたがって自動的にファイルの保存がおこなわれます。
- 必要に応じて、FlyFolderの保存や復元を手動でおこなうこともできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。

その他のバックアップ方法について

著作権が保護されたデータのバックアップを取る

購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「バックアップ・ユーティリティ」や「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。
購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

購入した音楽データのバックアップや退避については、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。
この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

チェック!!

- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー(バックアップ)できません。
  購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。
- DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

- Windowsの「バックアップと復元」を使う
  コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- 「データファイナルレスキュー」を使う
  Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは、PART3の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.87)をご覧ください。

PART

2

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、このPARTをご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

モバイルパソコン活用のヒント

ここでは、外出時に便利な機能や情報について紹介しています。

外出先でインターネット

●ワイヤレスLANを利用する

駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。

●WiMAX機能を利用する

インターネットなどのデータ通信をおこなう機能の一つで、ワイヤレスLANとは異なり、広いエリアで利用できます。外出先や移動中にも利用することができます。

また、こういったサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスできます。

チェック!!

・ワイヤレスLANサービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。
・WiMAXのサービスを利用するには、別途WiMAXのサービスを提供しているプロバイダとの契約が必要です。サービス内容や利用料金について詳しくは契約しているプロバイダにお問い合わせください。

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし置き忘れなどにより他人の手に渡ってしまったとしても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

●セキュリティを万全にする

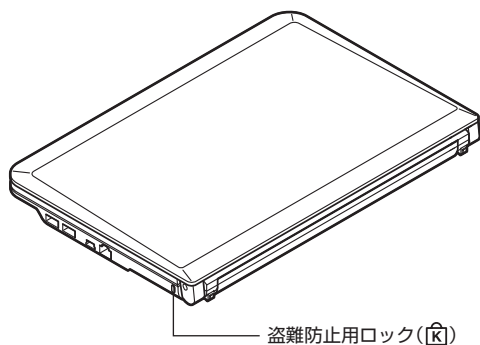
ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンが同一のLANに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、十分なセキュリティ対策をとってください。

●パスワードをかける

BIOS(バイオス)による「パソコン起動時のパスワード」や「内蔵ハードディスクにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

盗難防止用ロック(K)

参照

- 「ウイルスバスター」の設定、使い方について
  →「ウイルス対策ソフトを使い始める」
  ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020で検索
- セキュリティについて
  →「安全に使うためのポイント」
  ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91030010で検索
- 「BIOSセットアップユーティリティ」について
  →「BIOS(バイオス)セットアップユーティリティ」
  ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93220010で検索

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でのバッテリ切れは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする

充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、残量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

●残量が少なくなったら

ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

・電源ランプがオレンジ色に点灯したら
　バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。

・電源ランプがオレンジ色に点滅したら
　バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

参照
正しい充電のしかたについて
→「バッテリ」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150010 で検索

チェック!!
パソコン本体がスリープ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

文字サイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

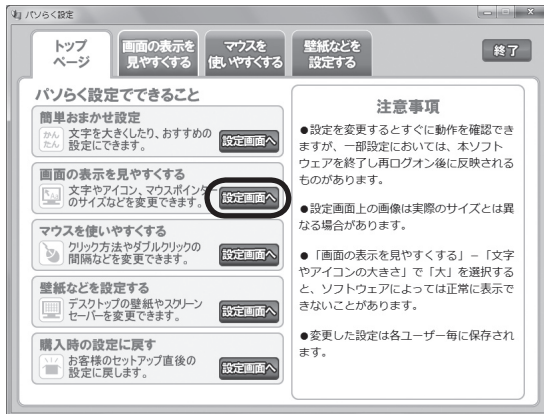
パソらく設定で変更する

パソらく設定はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

1 タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリック

2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」-「ソフトを起動」をクリック

パソらく設定が起動します。

3 「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリック

4 好みのサイズを選んでクリック

5 「終了」をクリック

6 「保存して終了」をクリック

7 「今すぐログオフ」をクリック

参照

- 「大（125%）」の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ（ウィンドウサイズ）の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。
- 「パソらく設定」では、文字やアイコンの大きさを変更するほかに、デスクトップの壁紙やスクリーンセーバーの変更もできます。
- 変更した設定をもとに戻すときは、「パソらく設定」のトップページで「購入時の設定に戻す」の「設定画面へ」をクリックし、表示された画面で「戻す」をクリックしてください。以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

USB Duet®

USBケーブルを使って、ほかのパソコンとデータをやり取りすることができます。

USB Duet®について

このパソコンにはUSB Duet®が搭載されています。USB Duet®とは、パソコンのUSB 2.0(Mini-B:USB Duet®専用)コネクタとほかのパソコンのUSBコネクタをケーブルで接続することで、ハードディスクの一部の領域を、接続したほかのパソコンから使用できるようにする機能のことです。USB Duet®を利用すると、接続したほかのパソコンから、データのコピーや受け渡しを通常のハードディスクドライブを扱うのと同じように簡単におこなうことができます。

チェック!!

- USB Duet®を使用するには、市販のUSBケーブル(USB 2.0準拠 Mini-B(5ピンタイプ))が必要です。
- ご購入時の状態では、USB Duet®を利用することができません。USB Duet®を利用するためには、インストールや設定をおこなう必要があります。詳しくは「USB Duet(R)について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91010010で検索▶「USB Duet(R)について」)をご覧ください。
- 再セットアップすると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

複数のパソコンを使う

複数のパソコンをお持ちの場合に便利な機能を紹介します。

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作りほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。
ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。
詳しい内容については、「複数のパソコンを便利に使う」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91025010 で検索)をご覧ください。

機能	使用するソフト	機能の説明
データを同期・共有する	FlyFolder	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
データをコピーする	USB Duet®	ほかのパソコンとUSBケーブルで接続して、データのコピーや受け渡しを簡単におこなうことができます。

PART

3

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。
再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

チェック!!
Windowsが正常に起動しない場合でも、電源が入る状態ならバックアップを取ることは可能です。詳しくは「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.87)をご覧ください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2010」-「ウイルスバスター 2010を起動」をクリック

ウイルスバスターの画面が表示されます。

2 「検索開始」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

3 「閉じる」をクリック

チェック!!
ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、ユーザー登録後、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料で最新のウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)をご覧ください。

●セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1 **パソコン本体の電源を切る**

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 **パソコン本体の電源を入れる**

3 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

4 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す**

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。

ユーザーを複数設定している場合は、ユーザー選択の画面が表示されます。自分のユーザーアカウントを選んでください。

これで、パソコンをセーフモードで起動することができました。

パソコンを再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。

チェック!!

セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。

●データのバックアップを取る

システムの復元や再セットアップをおこなう前に、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってデータのバックアップを取ってください。
操作については、PART1の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップを取る」(p.48)をご覧ください。

また、音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの復元やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

参照

バックアップについて→PART1の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」(p.47)

チェック!!

・ Cドライブの領域を変更して再セットアップ、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどへデータのバックアップを取っておいてください。
・ ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

3 **「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック**

4 **確認の画面が表示されたら「はい」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。

しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

5 **「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

チェック!!

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモード（トラブル修復用の起動状態）でパソコンを起動してみる」(p.65)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモードで起動してください。その後、システムの復元をおこなってみてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.68)の手順6 で、「システムの復元」をクリックしてください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

●「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック

5 自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック

「スタートアップ修復」が始まります。

7 修復が終わったら「完了」をクリック

8 「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

再セットアップする(Cドライブのみ)

このパソコン内にあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

●こんなことができます

・ Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
　Dドライブのデータは保護されます

●こんなかたにおすすめ

・ 再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・ まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の14項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約30分〜 1時間※)
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
8. Windowsの設定をする(約30分〜 1時間)
9. 「Microsoft Office 2010」を再セットアップする(Office 2010モデルのみ)(約10分〜 20分)
10. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
11. 市販のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. インターネット接続の設定などをやりなおす
14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・ この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります(p.48)。
・ 再セットアップは中断しないでください。
・ 再セットアップすると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

チェック!!

ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

再セットアップする

●バックアップは終わっていますか?

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、PART1の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップを取る」(p.48)をご覧ください。

●再セットアップを始めたら、途中でやめない!

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。
途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1. 必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

- 「Microsoft® Office Personal 2010」DVD-ROMとプロダクトキー(Office 2010モデルのみ)
- 『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

PART1の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップを取る」(p.48)でバックアップを取ったデータを、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。
Windowsの障害などで「バックアップ・ユーティリティ」が使えないときは、「データファイナルレスキュー」(p.87)を使ってバックアップを取ることができます。

3. インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザー ID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバ
- ニュースサーバ

必要に応じて、LAN の設定を控えてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー１」の欄に控えておきます。「8.Windows の設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

	ユーザー名
ユーザー 1(1人目)	
ユーザー 2(2人目)	
ユーザー 3(3人目)	
ユーザー 4(4人目)	

チェック!!

・ 家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。
・ ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。
・「バックアップ・ユーティリティ」でデータのバックアップを取った場合は、バックアップが完了したときに表示されるバックアップユーザー名を控えてください。

5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.107)をご覧ください。

6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレススイッチをオフにしてください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7. システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

1 パソコン本体の電源を切る

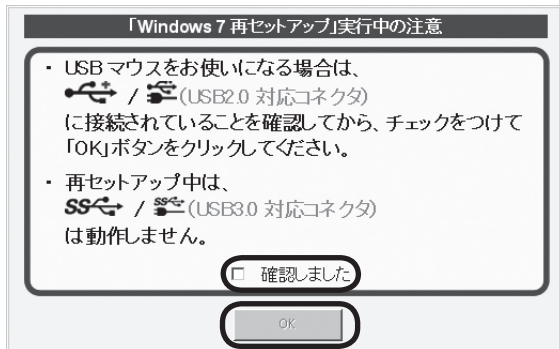
通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

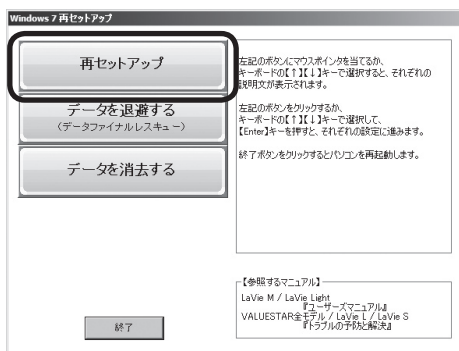
3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

チェック!!

操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

4 「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

5 外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSBコネクタに接続する

6 「Windows 7 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。

バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に、外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器は取り外してください。

7 「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

8 **確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック**

再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

9 **「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック**

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windows の設定をする」へ進んでください。

8. Windowsの設定をする

1 **ユーザー名を入力する画面が表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力し、「次へ」をクリック**

2 **パスワードを設定する画面が表示されたら、何もしないで「次へ」をクリック**

3 **「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリック**

4 **「コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」をクリック**

5 **「ワイヤレスネットワークへの接続」と表示された場合は、「スキップ」をクリック**

しばらくすると、何度か再起動して、「NECのパソコン設定のご案内」と表示されます。

6 **「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら、➡をクリック**

画面右下に「コンピューターのセキュリティを確認してください」と表示されることがありますが、ここではメッセージをクリックせずに、セットアップを進めてください。

7 **「インターネットエクスプローラー ホームページの設定」が表示されたら、BIGLOBEホームページまたはYahoo!JAPANホームページいずれかを選択して◉にし、➡をクリック**

セットアップが終わってから、インターネットで最初に表示するホームページを変更することもできます。

チェック!!

- 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順7からやりなおしてください。
- メモリースロットにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、メモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。
- 「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7. システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

チェック!!

- ユーザー名は、大文字、小文字の違いに注意して入力してください。
- あらかじめ控えたユーザー名以外を入力すると、「バックアップ・ユーティリティ」、「データファイナルレスキュー」で取ったバックアップデータが正しく復元できなくなります。

チェック!!

パスワードは手順2では、入力しないでください。Windowsのセットアップ作業が終わってから設定します。

8 「フィルタリング利用のご案内」の画面が表示されたら、内容を確認し、➡をクリック

9 「文字／アイコンサイズの設定」の画面が表示されるので、「いいえ」をクリック

これで再セットアップでのWindowsの設定は完了です。

Office 2010モデルの場合は、続けて「9.「Microsoft Office 2010」を再セットアップする」に進んでください。
その他のモデルの場合は、「10.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす」(p.75)へ進んでください。

9.「Microsoft Office 2010」を再セットアップする (Office 2010モデルのみ)

「Microsoft Office 2010」のインストール

1 インストールDVD-ROMをセットする

2 「自動再生」が表示されたら「SETUP.EXEの実行」をクリック

「自動再生」が表示されない場合は、「スタート」-「コンピュータ」をクリックし、DVD/CDドライブのアイコンをダブルクリックして、手順3に進んでください。

3 プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック

「プロダクトキー」は、添付の「Microsoft Office 2010」パッケージの中の、DVD-ROMケースに記載されています。

4 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」のライセンス条項にご同意いただければ、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック

5 「今すぐインストール」をクリック

インストールが始まります。

6 正常にインストールされた旨のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリック

インストールDVD-ROMをDVD/CDドライブから取り出してください。

再セットアップ後、「Microsoft Office 2010」を最初に使用するとき

Outlook 2010やWord 2010などのソフトを最初に使用するときは、プロダクトキーの入力とライセンス認証に関する画面が表示されます。表示された内容をよく読んで、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

チェック!!

・文字サイズを拡大する設定をおこなう場合は、「はい」をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。
・「パソらく設定」で設定を変更すると、ソフトにより正しく表示されないことがあります。その場合は、PART2の「文字サイズの変更」(p.59)をご覧になり、設定を変更してください。

チェック!!

Windowsの設定が終了したら、セキュリティ対策のため、Windowsのパスワードを設定することをおすすめします。パスワードの設定については『セットアップマニュアル』の「Windowsのパスワードを設定する」をご覧ください。

チェック!!

・ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。
・32ビット版の「Microsoft Office 2010」を削除して64ビット版の「Microsoft Office 2010」を追加した場合、「Microsoft Office 2010」は追加されていますが、おすすめメニューガジェットに「Microsoft Office Outlook」は表示されません。
・「Microsoft Office 2010」の再セットアップには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。あらかじめ、パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)を取り付けておいてください。
・手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
・インストールが終了したら、必ずMicrosoft Update を実行し、最新の状態にしてください。Microsoft Updateについて詳しくは、「Windowsの更新」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010で検索)をご覧ください。

64ビット版「Microsoft Office 2010」の追加について

64ビット版「Microsoft Office 2010」は次の手順で追加してください。

1 インストールDVD-ROMをセットする

自動でソフトが始まった場合は、追加せずにキャンセルします。

2 「スタート」-「コンピューター」をクリックする

3 「Microsoft Office 2010」のDVD-ROMが入っているDVD/CDドライブのアイコンを右クリックして、表示されたリストから「開く」を選ぶ

4 「x64」をダブルクリックする

5 「setup」をダブルクリックする

6 プロダクトキーを入力し、「続行」をクリックする

プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」パッケージの中の、DVD-ROMケースに記載されています。

7 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」が表示された場合は、画面の内容を確認し、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」の☐を☑にし、「続行」をクリックする

8 「今すぐインストール」をクリックする

9 「閉じる」をクリックする

64ビット版「Office ナビ 2010」の追加について

64ビット版「Office ナビ 2010」の追加は次の手順でおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」をクリックする

2 「コマンドプロンプト」を右クリックし、表示されたリストから「管理者として実行」をクリックする

3 「コマンドプロンプト」欄に「C:¥APSETUP¥OFNAVI_x64¥OfficeNavi_x64_ja-jp.exe」と入力し、【Enter】を押す

4 画面の指示にしたがって操作する

10. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

チェック!!

- 32ビット/64ビット版「Microsoft Office 2010」を同時に追加することはできません。
- 64ビット版「Microsoft Office 2010」では従来のOfficeのアドインの多くが使用できないなど、一部動作に制限があります。詳しくは次のサイトをご参照ください。
www.office.com/office64setup/
- 64ビット版「Microsoft Office 2010」を追加しても、「ソフト&サポートナビゲーター」上では、「未インストール」と表示されます。
- 32ビット版の「Microsoft Office 2010」を削除して64ビット版の「Microsoft Office 2010」を追加した場合、「Microsoft Office 2010」は追加されていますが、「ソフト&サポートナビゲーター」および「CyberSupport for NEC」から64ビット版の「Microsoft Office 2010」に含まれる各ソフトを起動することができません。「スタート」-「すべてのプログラム」-「Microsoft Office」から各ソフトを選択して起動してください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

チェック!!

- 64ビット版「Microsoft Office 2010」をご使用の環境で「Office ナビ 2010」を使用する場合は、64ビット版「Office ナビ 2010」を使用する必要があります。
- 32ビット版「Office ナビ 2010」が追加されている場合には、64ビット版「Office ナビ 2010」を追加することはできません。32ビット版「Office ナビ 2010」を削除してから64ビット版「Office ナビ 2010」を追加してください。
- 64ビット版「Office ナビ 2010」を追加しても、「ソフト&サポートナビゲーター」および「ソフトインストーラ」上では、「未インストール」と表示されます。また「CyberSupport for NEC」からも起動できません。

11. 市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

12. バックアップを取ったデータを復元する

バックアップを取っておいたデータを復元してください。

1 「バックアップ・ユーティリティ」でバックアップしたデータを復元する

操作については、「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップしたデータを復元する」(p.50)をご覧ください。

なお、「データファイナルレスキュー」(p.87)でバックアップしたデータも、「バックアップ・ユーティリティ」で復元することができます。

2 音楽データなどの著作権保護されたデータを復元する

音楽データなどをバックアップしたソフトなどで復元してください。

13. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。
なお、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってインターネット接続の設定をバックアップしてあった場合は、「12. バックアップを取ったデータを復元する」の操作でそれらの設定が復元されます。
「バックアップ・ユーティリティ」でインターネット接続の設定のバックアップを取っていない場合、「インターネットに接続するには」(p.37)を参考にインターネット接続の設定をおこなってください。

14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

チェック!!

- 64ビット版「Office ナビ 2010」を起動するときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「はじめよう!Microsoft Office」を選択するか、デスクトップ上に作成されるショートカットアイコンをクリックしてください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

チェック!!

- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。「スタート」- ▶ -「ユーザーの切り替え」の順にクリックして、ユーザーごとにデータを復元してください。このとき、標準ユーザーのデータは管理者ユーザーが復元してください。
- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザーアカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー名をもとにユーザーアカウントを作成してください。
- ユーザー名の変更や再セットアップが原因で、バックアップデータが別のユーザーのものと認識されると、復元時に「ご注意」ウィンドウが表示されます。この場合は、「ご注意」ウィンドウで「一時的に次のフォルダに復元する」を選択して復元をおこない、あとで「C:¥ユーザー名」フォルダから必要なファイルを取り出して、正しい場所へ適用してください。
- 「バックアップ・ユーティリティ」について詳しくは、「バックアップ・ユーティリティ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94040221 で検索)をご覧ください。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコン内にあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.69)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。
Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 「再セットアップする」(p.70)の「1.必要なものを準備する」～「7.システムを再セットアップする」の手順1 ～ 6までの作業をおこなう

2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

チェック!!

- この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
- Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
- Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- 再セットアップすると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。
- 再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
  作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

3 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップが始まり、再起動を求める画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.73)以降の説明を参考にしてください。

これで、Cドライブの領域を変更して再セットアップする作業は完了です。

再セットアップディスクを作成する

ここでは、再セットアップディスクの作成手順を説明します。

再セットアップディスクとは

> 再セットアップディスクの作成には、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。

再セットアップディスクは、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを、DVD-Rなどのディスクに移したものです。ご自分で作成する必要があります。
次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクが故障した場合**
- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**

再セットアップディスクでできる再セットアップについては、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.83)をご覧ください。

チェック!!
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.69)をご覧になり、この方法で再セットアップしてください。

再セットアップディスクを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2～3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

チェック!!
再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順3(p.81)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-Rディスクの場合:4.7G バイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5G バイトのもの
- **同じ種類のディスクを用意してください。**
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、DVD+R、DVD+R(2層)、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM
- **各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。**
  URL:http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

チェック!!
ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

●スクリーンセーバーが起動しないようにする

次の手順で設定を変更します。

1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の×をクリック

●起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)

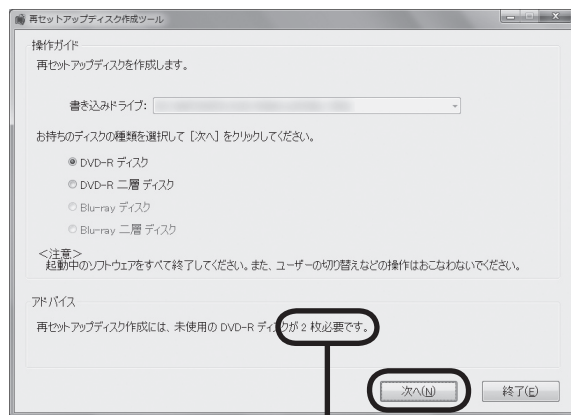
終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

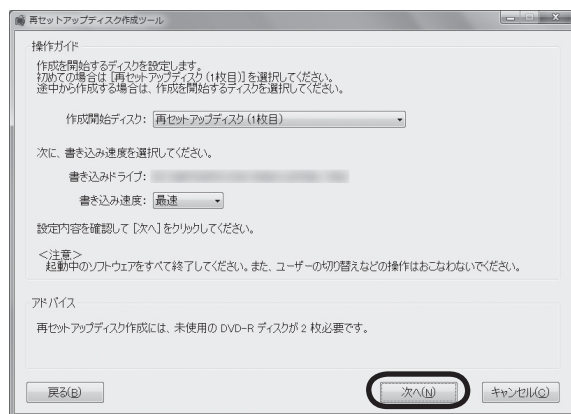
作成の手順

1 パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)を取り付ける

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

3 ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

4 設定内容を確認して、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

5 用意したディスクをセットする

アクセスランプが消えるまで待ってください。

チェック!!

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- 「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
  再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
  - 再セットアップディスクを使用して、Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合
  - 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

チェック!!

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

6 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7 「OK」をクリック

8 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

「再セットアップディスクをすべて作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクを使ってできることを説明します。

再セットアップディスクを使って再セットアップするには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。

●こんなことができます

- Cドライブのみの再セットアップ
- Cドライブの領域を変更して再セットアップ
- パソコンを購入時の状態に戻す
- Windowsが起動できないときにバックアップを取る
- パソコンのハードディスクのデータを消去

それぞれについて詳しくは、次ページの「再セットアップディスクでできること」をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

- パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
- パソコンを購入時の状態に戻したいかた
- Cドライブの領域を最大にして利用したいかた

チェック!!

再セットアップすると、USB Duet® の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないますが、ハードディスクの故障などで専用のデータが使用できない場合には、あらかじめ作成しておいた再セットアップディスクを使って再セットアップをおこないます。
また、再セットアップディスクを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブの領域のみ再セットアップをおこない、Dドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.69)で説明している内容と同じです。

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

データファイナルレスキュー

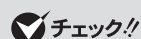
Windowsが起動できない場合にバックアップを取ります。「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.87)で説明している内容と同じです。

ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間〜約3時間程度かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

参照

再セットアップディスクについて→「再セットアップディスクを作成する」(p.79)

チェック!!

・この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。
・再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・Windows が起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、CD-R/RWディスクなどにバックアップデータを移動してください。

ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。
消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

●かんたんモード(1回消去)

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

●しっかりモード(3回消去)

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

●しっかりモードプラス(3回消去+検証)

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

参照

パソコンの処分について→「パソコンの売却、処分、改造について」(p.120)

チェック!!

- ハードディスクのデータを消去する前に、BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.107)をご覧ください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。
- どの方法でも、ハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
- データ消去方式を選択する画面に、データの消去にかかる目安時間が表示されます。
- ハードディスクのデータ消去で1台目の消去を選択すると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

1 作成した再セットアップディスクを用意する

2 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.69)を読み、「1.必要なものを準備する」から「6.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

3 パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)を取り付ける

4 パソコン本体の電源を入れる

5 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

6 「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

7 **外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSBコネクタに接続する**

8 **「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。
ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。
バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に、外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器は取り外してください。

9 **目的の再セットアップのボタンをクリック**

10 **以降は、画面の指示にしたがって操作する**

「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

11 **「8.Windowsの設定をする」(p.73)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする**

「14.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!

「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る

Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」でデータのバックアップを取ることができます。

データファイナルレスキューでできること

通常、データのバックアップは再セットアップをおこなう前に取ります。しかし、障害などが原因でWindowsを起動できない場合があります。その場合は、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ってください。
バックアップ先には、パソコンのハードディスク内(Dドライブ)のほか、外付けハードディスクやUSBメモリーを指定することができます。

チェック!!

- データファイナルレスキューでは、インターネット設定のバックアップを取ることはできません。
- 音楽データなどの著作権保護されたデータは、バックアップを取ることができません。

バックアップ先に外付けハードディスク/USBメモリーを指定する場合のご注意

バックアップ先に外付けハードディスク/USBメモリーを指定する場合、次のことにご注意ください。

- 外付けハードディスクは、USB接続のもののみ利用できます。
- データファイナルレスキュー上では、外付けハードディスク/USBメモリーのフォーマットはできません。あらかじめWindows上でフォーマットや空き容量を確保しておいてください。
- 複数の外付けハードディスク/USBメモリーにデータを分割してのバックアップはできません。
- 外付けハードディスク/USBメモリーの空き容量を超えるサイズのファイルはバックアップされません。
- バックアップ処理中は、外付けハードディスク/USBメモリーを抜かないでください。また、バックアップ終了後は外付けハードディスク/USBメモリーを必ず抜き、接続したままパソコンを起動しないでください。
- 外付けハードディスク/USBメモリー自体で暗号化/セキュリティ機能を備えたもの(OS起動前でも認証可能なもの)は、データファイナルレスキュー起動前にあらかじめ認証を完了させておく必要があります。

次のような外付けハードディスク／USBメモリーは、バックアップ先として指定できません。

・ パソコンへ接続した際に、OS上でパスワード入力や指紋照合などの認証を求められるもの。
・ 自動暗号化/自動セキュリティ機能が動作するもの。
・ パソコンに外付けハードディスク／USBメモリーをあらかじめ登録することで、次回以降のパスワード入力が省略できるもの。

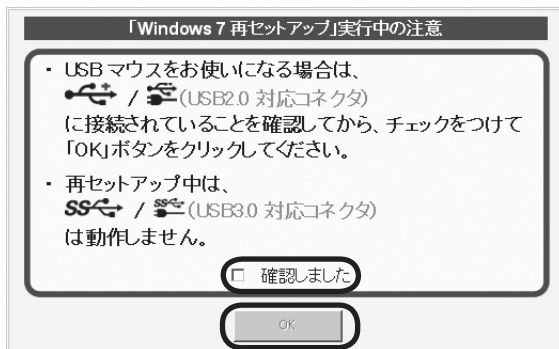
※これらの外付けハードディスク／USBメモリーを使用した場合でも、「バックアップ先」のリストボックスに接続した機器が表示されますが、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップすることができません。

データファイナルレスキューを使ったバックアップ手順

次の手順で操作してください。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 NECのロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

3 「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSBコネクタに接続する

5 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「データを退避する(データファイナルレスキュー)」をクリック

6 **「データファイナルレスキュー」の画面が表示されたら、バックアップしたい「バックアップ タイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック**

バックアップしたい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

7 **「ユーザーとバックアップ先の指定」が表示されたら、バックアップするユーザーを選び、どこにバックアップを取るかを選んで「次へ」をクリック**

8 **バックアップする内容を確認して「実行」をクリック**

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

9 **「バックアップの完了」と表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック**

10 **「データファイナルレスキューが終了しました。」と表示されたら、「戻る」をクリック**

11 **複数のユーザーを設定している場合は、すべてのユーザーのバックアップが終わるまで手順5 ～ 10を繰り返す**

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップをした場合は、USB機器を取り外してください。
「Windows 7再セットアップ」の最初の画面に戻ります。「再セットアップ」をクリックして再セットアップをおこなってください。

チェック!!

- バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、ほかのデータを登録できます。
- 「Windows Live メール」に☑を付けても、Windows Live メールのアドレス帳のバックアップは取れません(メールアカウントとメールメッセージのバックアップは取れます)。

チェック!!

- 標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、D ドライブのデータも消えてしまうため、外付けハードディスクドライブやUSBメモリーにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「ユーザーとバックアップ先の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
- 外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
- 自動暗号化機能などを搭載した外付けハードディスク／ USBメモリーは、「バックアップ先」のリストボックスに接続している機器が表示されても、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップすることができません。

チェック!!

- Dドライブにバックアップを取った後は、Cドライブのみ再セットアップをおこなってください。そのほかの方法で再セットアップをおこなうと、Dドライブに作成したバックアップデータが消去されてしまう可能性があります。
- Cドライブのみ再セットアップする手順について詳しくは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.69)をご覧ください。

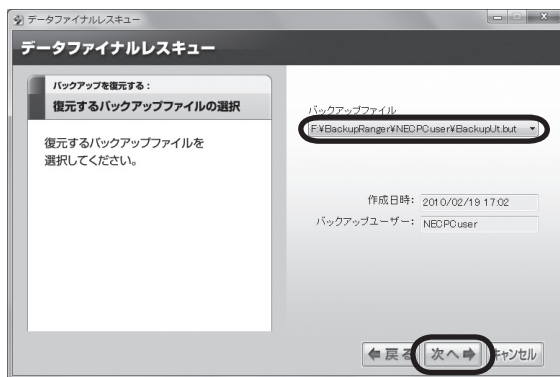
データファイナルレスキューでバックアップしたデータを復元する

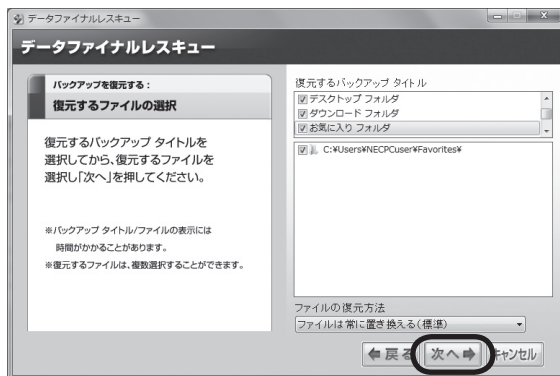
「データファイナルレスキュー」でバックアップしたデータは、以下の手順で復元できます。ここでは、例として、パソコンのDドライブにバックアップを取った場合について説明しています。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 名前に「D:¥BackupRanger¥BackupUtMini.exe」と入力し、「OK」をクリック

3 「免責事項と注意事項の確認」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をクリックして◉にして「次へ」をクリック

4 「バックアップファイル」から、復元したいバックアップファイルを選択して「次へ」をクリック

「バックアップファイル」には、データファイナルレスキューでバックアップを取ったバックアップデータが表示されます。

5 復元したい「バックアップタイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

復元したい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

チェック!!

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- 外付けハードディスクなどにバックアップを取った場合は、「(外付けハードディスクのドライブ)¥BackupRanger」フォルダに復元するためのプログラムが作られます。外付けハードディスクをパソコンに接続した後、プログラムを実行してください。このプログラムは、Windows 7、Windows Vista以外のOSでは動作しません。

チェック!!

- 特定のファイルを復元したい場合は、「バックアップタイトル」をクリックした後、下に表示されるフォルダとファイルの一覧の中から、復元したいファイルに☑を付けてください。
- 一度に複数のバックアップタイトルやファイルを復元することもできます。

6 **「復元の開始」画面で、「はい」をクリック**

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

7 **「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック**

「復元結果の表示」をクリックすると、復元されたファイルの一覧を確認することができます。

これで、データファイナルレスキューで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

チェック!!

- データファイナルレスキューでバックアップを取ったユーザーと、復元をおこなうユーザーが異なる場合、注意画面が表示されます。バックアップ時と同じ場所へ復元してもよい場合には、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。
- 標準ユーザーのバックアップデータを復元するときには、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。

PART

4

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困った」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードやACアダプタをコンセントから抜いて、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このPART「トラブル解決 Q&A」
◇このパソコンに入っている電子マニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」の「困った」
◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル
◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/をご覧ください。

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windows 7に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。
http://support.microsoft.com/fixitをご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

「ソフト&サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を活用してください。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

タスクバーの アイコンをクリック

次に「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困った」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「パソコンの各機能」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題ありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスク クリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は付録の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は付録の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1. 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す
2. 表示された画面で、「タスクマネージャーの起動」をクリック
   「Windows タスクマネージャー」の画面が表示される
3. 「アプリケーション」のタブをクリック

チェック!!

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態や内蔵ドライブアクセスランプ( )が点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.103)をご覧ください。

4 **右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック**
この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

1 **パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける**
通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 **5秒以上待ってから、電源スイッチを押す**
パソコンの電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。そのほかのメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

3 **Windowsが起動したら、「スタート」をクリック**

4 **「シャットダウン」をクリック**
パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!
- 「Windows タスクマネージャー」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

チェック!!
頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。

チェック!!
うまく起動できなかった場合は、「PART3 再セットアップ」(p.63)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

キーボード、NXパッド

キーボードやNXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

☹→☺ マウスポインタが◯の形に変わっていませんか?

マウスポインタが◯の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードやNXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

☹→☺ しばらく待ってもキーボードやNXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.97)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

☹→☺ 指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

☹→☺ NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません(マルチタッチ・ジェスチャーでの操作を除く)。1か所だけに触れるようにしてください。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示や内蔵ドライブアクセスランプ( )が点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

☹→☺ キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしていませんか？

ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッドのタップ操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップを無効にする」のチェックを外す

3 「OK」をクリック

これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。

☹→☺ USBマウスを接続していませんか？

ご購入時の状態では、USBマウスを接続するとNXパッドの機能が無効になるように設定されています。USBマウスを外すか、次の手順でNXパッドを有効にする設定を変更して、USBマウス接続時にもNXパッドの操作ができるようにしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「USBマウス接続時の動作」タブをクリック

3 「USBマウスと同時に使用する」を選ぶ

4 「OK」をクリック

これで、NXパッドが有効になります。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

参照

・キーボードのお手入れ→付録の「パソコンのお手入れ」（p.115）
・NECサポート窓口（121コンタクトセンター）のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外す

バッテリパックの取り外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

2 そのまましばらく放置した後、バッテリパックを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす

3 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

チェック!!

放電を確実におこなうため、電源コードはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照

NECサポート窓口（121コンタクトセンター）のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

通常の方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」（p.97）をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」（p.98）の操作をおこなってください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

「バックアップ･ユーティリティ」で、自動バックアップの設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。
そのほか、インターネットからWindowsのモジュール（ドライバやソフトなどの更新プログラム）をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。

パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態（スリープ状態）になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。
省電力機能について詳しくは、「省電力機能」（「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索）をご覧ください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、点滅しているとき

パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか?

一度、電源コードをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

バッテリパックは正しく取り付けられていますか?

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

バッテリは十分充電されていますか?

電源コードを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

チェック!!

電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなることがあります。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコン本体の電源ランプが青色に点灯しているとき

☹➡☺ **キーボードのキー（【Shift】など）を押すか、NXパッドに触れてみてください。**

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

☹➡☺ **休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？**

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

☹➡☺ **ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっていませんか？**

「表示機能」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180010 で検索)をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

☹➡☺ **外部ディスプレイを接続していませんか？**

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】＋【F3】または【】＋【P】を押すか、設定画面で画面の出力先を変更してください。手順については、「表示機能」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180010 で検索)をご覧ください(出力先を設定画面で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)。
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」-▶-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。「PART3 再セットアップ」(p.63)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.65)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows 7 Home Premium」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

外付けのDVD/CD-ROMドライブなどに、CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

CD-ROMなどを取り出してから、何かキー（【Enter】など）を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。
CD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。「PART3 再セットアップ」(p.63)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。

1 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 キーボードの【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!

「BIOSセットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
→「BIOS(バイオス)セットアップユーティリティ」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93220010 で検索

チェック!!

- 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態 / スリープ）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（休止状態/スリープ）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスリープ状態から復帰させたが画面が表示されない

【Alt】＋【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容は消えてしまう場合があります。

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

- 液晶ディスプレイを閉じた
- 省電力状態にした
- 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

参照
省電力機能について
→「省電力機能」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

Cドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- プリンタで印刷しているとき
- サウンド機能により音声を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!
省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

マウスを操作してもスリープ状態から復帰しない

マウスをUSBコネクタ( )(パワーオフUSB充電機能対応)に接続していませんか？

パワーオフ充電機能をオンにすると、パワーオフUSB充電機能対応のUSBコネクタにマウスを接続した場合、スリープ状態の時にマウス操作で復帰できなくなります。

パスワード

Windows を起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードをお確かめください。」と表示される

(キャップスロックキーランプ)や(ニューメリックロックキーランプ)の状態を確認してください。

パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、キー上面に青色で表示されている数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照
キャップスロック、ニューメリックロックについて
→「キーの使い方」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93040030 で検索

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないで をクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウント管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。

詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「ソフト&サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っているLANケーブルなどをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。
届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX:03-5978-7518
E-mail:virus@ipa.go.jp
URL:http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL:03-5978-7509

参照
→「ウイルス感染の防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040010 で検索

パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードをコンセントから抜いて、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される場合は、不要なデータを削除してCドライブの空き領域を増やしてください。
不要データを削除する方法のほかに、再セットアップのための領域を利用してCドライブの空き領域を増やす方法があります。詳しくはPART3の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.83)をご覧ください。

付　録

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。
バッテリについて詳しくは、「バッテリリフレッシュについて」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150030 で検索)をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。
バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

チェック!!
バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをコンセントに差し込む**

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ &診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「今すぐ開始」をクリック**

5 **「はい」をクリック**

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 **診断結果を確認**

「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリを交換してください。

参照
バッテリリフレッシュについて
→「バッテリリフレッシュについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150030 で検索

チェック!!
・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
・バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
・バッテリリフレッシュは、BIOS(バイオス)セットアップユーティリティからもおこなえます。
・バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

準備するもの

軽い汚れのとき	汚れがひどいとき
乾いたきれいな布を 用意します	水かぬるま湯を含ませて、 よくしぼった布を用意します

電源を切って、電源コードを外す

お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切ってください。電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。

電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

チェック!!

- 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

パソコン各部の清掃のしかた

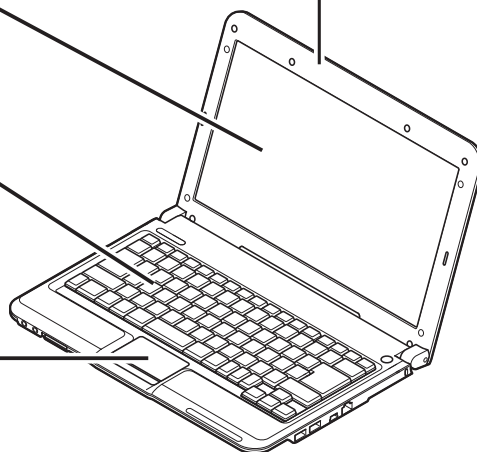
液晶ディスプレイ
やわらかい素材の乾いた布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。
ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

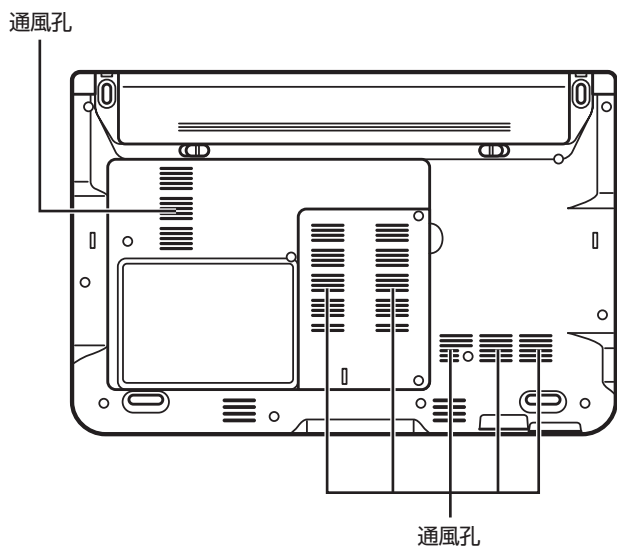
キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

NXパッド
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

通風孔
ほこりなどを定期的に取り除いてください。詳しくは、「通風孔のお手入れについて」（次ページ）をご覧ください。

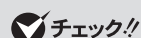
電源コード／ACアダプタ
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。
定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

チェック!!
水やぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でパソコン本体、キーボードをふき取る際、水が入らないよう充分注意してください。

通風孔のお手入れについて

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

お手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりなどを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。詳しくは、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

NEC製パソコンに関するお問い合わせ

NEC製パソコンのご購入などに関するお問い合わせは、下記コールセンターまでお問い合わせください。

●NEC Direct(NECダイレクト)コールセンター

電話(フリーコール):0120-944-500
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
Tel:03-6670-6670(東京)(通話料お客様負担)
受付時間:9:00 ～ 18:00
(ゴールデンウィーク・年末年始、およびNEC Direct指定休日を除く)

NEC製パソコンの修理のご相談などについては、下記窓口までお問い合わせください。

●NECサポート窓口(121コンタクトセンター)

電話(フリーコール):0120-977-121
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
Tel:03-6670-6000(東京)(通話料お客様負担)
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

・サービス内容等は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新の情報については、http://121ware.com/121cc/をご覧ください。

消耗品/有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次のとおりです。

種類	内容説明名	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。 本体の保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、 CD-ROMディスク、 DVD-ROMディスク、 SDメモリーカード、 バッテリ、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、 ハードディスクドライブ、 キーボード、 マウス、 ファン

- 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは「仕様一覧」をご覧ください。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
  また、長時間連続使用等のご使用状態や、温湿度条件等のご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。
- 本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
  24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

パソコンの売却、処分、改造について

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。
買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、http://121ware.com/support/recyclesel/をご覧ください。

このパソコンを譲渡するには

●譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

   ※第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。

●譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。
登録方法については、添付の『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコン内のデータを消去する方法については、PART3の「ハードディスクのデータ消去」(p.85)をご覧ください。

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。
PCリサイクルマークが銘板（パソコン本体の底面にある型番や製造番号が記載されているラベル）に表示されている、または、PCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」（URL：http://121ware.com/support/recyclesel/）をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NECサポート窓口（121コンタクトセンター）

廃棄のお問い合わせ

 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やＰＨＳ、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000（東京）（通話料はお客様負担となります）
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

NECサポート窓口（121コンタクトセンター）の詳しい情報は『セットアップマニュアル』をご覧ください。
また、最新の情報については、http://121ware.com/121cc/をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合（産業廃棄物として廃棄される場合）
当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。
廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
（URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/）

チェック!!
本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/release/020411.html

このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去ができます。詳しくはPART3の「ハードディスクのデータ消去」(p.85)をご覧ください。

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際に、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊(メモリーカードの場合は、金槌による物理的破壊のみ)して、読めなくすることを推奨します。

パソコンのハードディスクやメモリーカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化（フォーマット)」、「メモリーカードの初期化（フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるために Windows でデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

チェック!!

- パソコンの再セットアップでデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクのみです。
- ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。
記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

仕様一覧

●LM550/BS6W、LM550/BS6B、LM550/BS6R

型名			LM550/BS6W	LM550/BS6B	LM550/BS6R
型番			PC-LM550BS6W	PC-LM550BS6B	PC-LM550BS6R
インストールOS・サポートOS			Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版※1※2		
CPU			インテル® Core™ i3-330UM プロセッサー 超低電圧版		
	動作周波数		1.20GHz		
	コア数／スレッド数		2コア／ 4スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)		
	キャッシュメモリ		3MB(3次キャッシュ)		
バスクロック	システムバス		2.5GT/s DMI※10		
	メモリバス		800MHz		
チップセット			モバイル インテル® HM55 Express チップセット		
メインメモリ※3※5※6※7	標準容量／最大容量		2GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×1、PC3-6400対応※4、デュアルチャネル対応可能)※8／ 8GB※9		
	スロット数		2スロット[空き:1]		
表示機能	内蔵ディスプレイ		13.3型ワイド 低反射TFTカラー液晶(スーパーシャインビュー LED液晶)[WXGA(最大1366×768ドット表示)]		
		LCDドット抜けの割合※11	0.00026%以下		
	表示色(解像度)※12	内蔵ディスプレイ※13	最大1677万色※14(1366×768ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
		別売の外付けディスプレイ接続時(HDMI接続時)※15	最大1677万色(1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット) 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p		
		別売の外付けディスプレイ接続時(アナログRGB接続時)※16	最大1677万色(1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×800ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
	グラフィックアクセラレータ		インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)		
	グラフィックスメモリ※6※17		最大758MB		
ドライブ	ハードディスクドライブ※18		約320GB(Serial ATA、5400回転/分)		
	DVD/CDドライブ		ー【別売、専用オプション(型番:PC-AC-DU005C)※19】		
サウンド機能※21	スピーカ		内蔵ステレオスピーカ(1W+1W)		
	音源／サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※20		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC269搭載		
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		
	ワイヤレスLAN・WiMAX		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※22※23※24※25(IEEE802.11a/b/g/n準拠)・モバイルWiMAX本体内蔵※26(IEEE802.16e-2005準拠)		
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ19mm※27、キーストローク3.0mm)、JIS標準配列(87キー)		
	ポインティングデバイス		手書き入力※29/ジェスチャー機能付きNXパッド標準装備※28		
外部インターフェイス	USB		USB 2.0×3(パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※30)、USB 2.0(Mini-B 5ピン:USB Duet®専用)×1※31		
	ディスプレイ		ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※15		
	LAN		RJ45×1		
	サウンド関連	マイク入力※32	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 32kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[ヘッドフォン出力インピーダンス 16 ～ 100Ω(推奨32Ω)、出力電力 5mW/32Ω]		
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)		
	カードスロット	メモリーカード	SDメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード)スロット×1※33※34		
外形寸法	本体(突起部除く)		330(W)×220(D)×27.0 ～ 30.5(H)mm		
	バッテリ(突起部除く)		約272.8(W)×47.9(D)×20.0(H)mm		
	ACアダプタ		約114.5(W)×49.5(D)×28.5(H)mm		
質量	本体(標準バッテリパック含む)		約1.79kg		
	バッテリ		約425g		
	ACアダプタ※35		約270g		
バッテリ駆動時間※36※37	標準バッテリパック装着時		約10.5時間		
	オプションバッテリ装着時		約5.0時間(M)、約10.5時間(L)		
バッテリ充電時間(電源ON時／OFF時)※36	標準バッテリパック装着時		約4.5時間／約4.5時間		
	オプションバッテリ装着時		約4.2時間／約4.2時間(M)、約4.5時間／約4.5時間(L)		
電源※38※39			リチウムイオンバッテリ(DC14.4V、Typ.5800mAh※40)またはACアダプタ(AC100 ～ 240V±10%、50/60Hz)		

型名		LM550/BS6W	LM550/BS6B	LM550/BS6R
消費電力	標準／最大	約14W ／約60W		
電波障害対策		VCCI ClassB		
温湿度条件		5 ～ 35℃、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)		
本体色		グロスホワイト	グロスブラック	グロスレッド
主なソフトウェア		Microsoft® Office Personal 2010※41		
主な添付品		ACアダプタ、マニュアル		

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1： 日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。
※ 2： ネットワークでドメインに参加する機能はありません。
※ 3： 増設メモリは、PC-AC-ME048C(4GB、PC3-8500)、PC-AC-ME050C(2GB、PC3-8500)を推奨します。
※ 4： 本体に搭載しているメモリはPC3-8500(1066MHz)ですが、本体のメモリバスの仕様上PC3-6400(800MHz)で動作します。
※ 5： 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※ 6： グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※ 7： 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※ 8： メモリ増設した場合、容量が異なるメモリを増設すると、少ないメモリに合わせた容量までデュアルチャネル動作となり、容量差分がシングルチャネル動作となります。
※ 9： 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を2枚実装する必要があります。
※ 10： DMIはDirect Media Interfaceの略です。
※ 11： ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※ 12： 本体液晶ディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
※ 13： 液晶ディスプレイの最大解像度より大きい解像度を、液晶ディスプレイに表示することはできません。
※ 14： 1677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
※ 15： 本機で著作権保護されたコンテンツを再生し、HDMI出力端子に接続した機器に表示する場合、接続する機器はHDCP規格に対応している必要があります。HDCP規格に非対応の機器を接続した場合は、コンテンツの再生または表示ができません。HDMIのCEC(Consumer Electronics Control)には対応しておりません。HDMIケーブルは長さ1.5m以下を推奨します。ご使用の環境によっては、リフレッシュレートを60Hz(プログレッシブ)に変更するか、解像度を低くしないと、描画性能が上がらない場合があります。すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVでの動作確認はしておりません。HDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVによっては正しく表示されない場合があります。
※ 16： 本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能です。ただし拡大表示機能を使用しない状態では、本体液晶ディスプレイ全体には表示されない場合があります。また解像度によっては、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
※ 17： パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 18： 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
※ 19： DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き、USB 2.0接続)[DVD-R/+R 2層書込み]
※ 20： 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 21： キャプチャソフトなどを使用して、本機で再生中の音声を録音することはできません。
※ 22： IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11a/b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。5GHz帯ワイヤレスLANは、IEEE802.11a/n(W52/W53/W56)準拠です。
※ 23： 理論上の最大通信速度は送受信ともに300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 24： IEEE802.11a/n(W52/W53)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。W52/W53/W56は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。詳細は http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/050516_5ghz/index.html をご覧ください。
※ 25： IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 26： モバイルWiMAX機能を利用するには、WiMAXサービス事業者と契約する必要があります。契約方法や利用料金などについては、契約するWiMAXサービス事業者にお問い合わせください。サービスエリアについては、UQコミュニケーションズ株式会社のホームページ でご確認ください。理論上の最大通信速度は、送信が6Mbps、受信が20Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。ワイヤレスLAN機能とモバイルWiMAX機能を同時に使用することはできません。
※ 27： キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
※ 28： 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 29： 手書きには個人差がありますので、本機能は完全な変換を保証するものではありません。
※ 30： 動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html をご覧ください。パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。使用する場合は、「パワーオフUSB充電の設定」でオンにしてください。
※ 31： 動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/catalog/usbduet/ をご覧ください。USB Duet® を利用するには、市販のUSBケーブル(USB 2.0準拠 Mini-B(5ピンタイプ))が必要です。USBホスト機能には対応していません。
※ 32： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。

※　33：「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのSDメモリーカード、SDメモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。

※　34：「SDメモリーカード」「SDHCメモリーカード」は著作権保護機能(CPRM)に対応していますが、「SDXCメモリーカード」は著作権保護機能(CPRM)に対応していません。「SDXCメモリーカード」の著作権保護機能(CPRM)対応モジュールは、2010年8月下旬に弊社ホームページ(http://121ware.com/)にて提供予定です。「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」の高速転送規格「UHS-I」には対応しておりません。「SDXCメモリーカード」の動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/catalog/taioukiki/ をご覧ください。

※　35：電源コードの質量を除く。

※　36：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。

※　37：JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、インターネット(http://121ware.com/lavie/ → 各シリーズページ → 「仕様」)をご覧ください。

※　38：パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。

※　39：標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。

※　40：公称容量(実使用上でのバッテリパックの容量)を示します。

※　41：本製品はマニュアルを添付しております。

■LAN仕様一覧

項目	規格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時:1,000Mbps 100BASE-TX使用時:100Mbps 10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時:UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時 :UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T:最大約200m/ステーション間 100BASE-TX:最大約200m/ステーション間 10BASE-T:最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

■ワイヤレスLAN仕様一覧

本機能は高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデルのみの機能です。

●IEEE802.11a

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11a、ARIB STD-T71 ※4
通信モード	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード) ※1
伝送方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン) ※5
周波数帯域	5GHz帯域 (5.15 ~ 5.35GHz、5.47 ~ 5.725GHz) ※2
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※3)

※ 1: 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 2: 36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

※ 3: ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※ 4: ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。

※ 5: パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11b/g

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66 ※3
通信モード	IEEE802.11gモード:54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード) ※1 IEEE802.11bモード:11/5.5/2/1 (Mbpsモード) ※1
伝送方式	OFDM方式 (54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式 (11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1 ~ 11ch (アクティブスキャン) 12、13ch (パッシブスキャン)※4
周波数帯域	2.4GHz帯域 (2.4 ~ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※ 1: 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 2: ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※ 3: ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。

※ 4: パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11n

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11n、ARIB STD-T66 ※2、ARIB STD-T71 ※2
通信モード	20MHz時：130/117/104/78/52/39/26/13（Mbpsモード） 20MHz、Short GI有効時：144.44/130/115.56/86.67/57.78/43.33/28.89/14.44（Mbpsモード） 40MHz時：270/243/216/162/108/81/54/27（Mbpsモード） 40MHz、Short GI有効時：300/270/240/180/120/90/60/30（Mbpsモード）※1
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1～11ch（アクティブスキャン） 12、13ch（パッシブスキャン）※4 36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン）※4
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4～2.4835GHz) 5GHz帯域　(5.15～5.35GHz、5.47～5.725GHz）※3
セキュリティ	WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）

※　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※　2：ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ワイヤレスLAN（無線LAN）」-「ワイヤレスLAN（無線LAN）使用上の注意」をご覧ください。

※　3：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

※　4：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

■モバイルWiMAX仕様一覧

●IEEE802.16e-2005

項目	規格
準拠規格	IEEE802.16e-2005、ARIB STD-T94
通信速度（送信時）	6Mbps ※
通信速度（受信時）	20Mbps ※
伝送方式	OFDMA方式、MIMO方式
周波数帯域	2.5GHz帯域　(2.595～2.625GHz)

※：規格における理論的な通信速度をもとにした通信速度表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

修理チェックシート

A欄・故障診断用

修理依頼日 20 年 月 日

ご住所	〒 －		
フリガナ お名前 (貴社名)		電話番号	ご自宅( ) － FAX( ) －
部署名/ご担当者名 (法人の場合)		日中の連絡先 (お勤め先・携帯電話等)	

(本体) 製品型番/型名	PC-	製造番号	
(ディスプレイ) 製品型番/型名		製造番号	

症状について

1 どのような症状ですか?(できるだけ詳しくご記入ください)

① 電源は入りますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々
② 本体ランプは点灯しますか?	□ はい(色)		□ いいえ
③ モニタランプは点灯しますか?	□ いいえ	□ グリーン色	□ オレンジ色
④ ファン(通風)は回転しますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑤「NEC」ロゴは表示されますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑥ Windowsは立ち上がりますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々

2 その症状はいつから発生していますか? 20 年 月 日頃から

3 その症状はどんな操作をしたときに起こりますか?

4 症状の発生頻度を教えてください □ 常時 □ 一日に数回 □ 週に数回 □ 月に数回 □ 年に数回 □ 不定期的に □ 過去に発生した

5 お客様が追加してインストールされたソフトウェアがあれば、メーカー名、製品名をご記入ください

6 お客様が増設した周辺機器があれば、製品名をご記入ください
(対象:メモリ・ハードディスク・プリンタ・モデム等)

7 インターネットまたは電子メールに関する故障の場合は使用回線を教えてください
□ アナログ電話回線 □ ISDN □ ADSL □ 光回線 □ CATV □ 社内LAN
□ その他〔 〕

B欄・修理申込用

項目	記入欄
1 お買い上げ日	20　　年　　月　　日
2 保証書の添付について	□ 無 □ 有〔保証書には販売店印または販売店の発行する領収書(購入日がわかるもの)が必要です〕
3 修理料金見積りについて	□ 見積不要(修理連絡なしに修理してもよい) □ 見積連絡不要　※見積連絡の必要がないので早く修理品を返却できます。 〔　万　千円以下(税込)であれば連絡なしに修理してもよい〕 □ 見積連絡必要
4 お預りする添付品について	□ 無 □ 有（□ ACアダプタ　□ メモリ　□ 電源コード　□ キーボード　□ マウス　□ フロッピー媒体　□ CD媒体　□ 保証書　□ その他(　　)）
5 [重要]ハードディスクの初期化について ※1	□ 同意する □ 同意しない（故障原因がハードディスクまたはソフト障害の場合、ご同意いただけないと修理を行うことができません。そのままお返しすることをご了承ください。ハードディスク故障またはソフト障害のみ初期化。他の部品故障はハードディスクの初期化は行いません。）
6 ハードディスク内のデータのバックアップについて ※1	□ バックアップした □ バックアップしない
7 セットアップメニュー(BIOSメニュー)のスーパバイザパスワードの設定について ※2	□ 設定していない □ 設定しているが修理を出す前に解除した □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔スーパバイザパスワード　　〕
8 ログインする際のユーザー名でAdministrator（コンピュータの管理者）権限を持つユーザー名について（セットアップ時の登録ユーザー名） ※2	ユーザー名〔　　〕 パスワードの設定 （□ 設定していない(修理を出す前に解除した) □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔パスワード　　〕）

注意事項

※1 修理のためにハードディスクの初期化が必要となる場合があります。初期化によりハードディスク内に記録されているお客様すべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
（パソコン内に登録されたソフトウェアや作成されたデータ、インターネット接続情報、メールアドレスやメール内容、お客様が取り込んだ写真、ホームページお気に入り情報、その他お客様が登録された固有の設定情報など、ハードディスク内の「すべてのドライブ」の「すべてのデータ」が消去されます。）
従いまして、常日頃からこまめにバックアップ（複製）するとともに、修理に出される前には必ずバックアップをお取りいただくようお願いいたします。
また、初期化にご同意いただけない場合、修理をすることができず診断料を請求しそのままお返しすることがあります。

※2 修理に出される前に、必ずパスワードを解除するか「12345」（半角）に変更していただくようお願いいたします。指紋認証システムをご利用のお客様は、あらかじめ認証機能を解除してください。
ご希望により当社でパスワードを解除（有料）する場合は、121 コンタクトセンター（フリーコール　0120-977-121）〈修理受付〉までお問い合わせください。認証解除等においては再セットアップが必要になる場合があります。

索引

異常や故障の場合には

万一、本機に異常や故障が生じた場合には、次のように対処してください。

- 本機から煙が出たり、異臭がしたりする
- 本機が、手で触れないほど熱い
- 本機から異常な音がする
- 本機や接続されたケーブル類が破損した

↓

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。

※電源が切れないときには、そのまま電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

↓

NEC サポート窓口（121 コンタクトセンター）にお問い合わせください。

初版 2010年6月
NEC
853-811064-020-A
Printed in Japan

LaVie M
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。